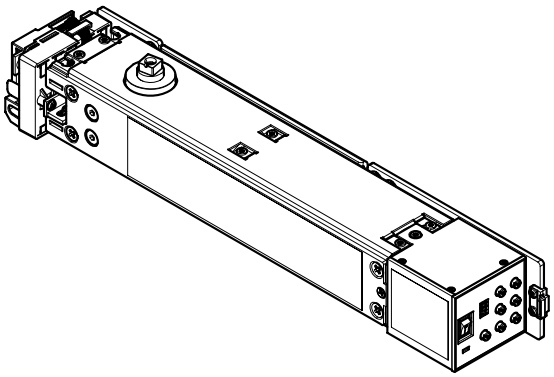
RYOBI

ドア開閉装置 RUCAD（ラクアド）

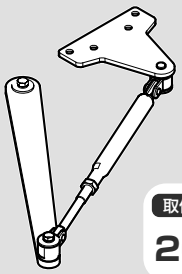
取付要領書

	パラレルタイプ	スタンダードタイプ	トラックレールタイプ
扉枠内配線	RU-021P(-B)	RU-021H(-B)	RU-021T(-B)
露出配線	RU-022P(-B)	RU-022H(-B)	RU-022T(-B)

※ (-B)は停電時作動用の電池パックセット付きです。



パラレルタイプ

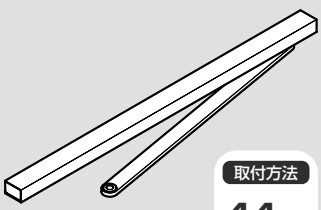


取付方法 26ページ

スタンダードタイプ

取付方法 36ページ

トラックレールタイプ



取付方法 44ページ

※ 図は「右開き(R)」を表示しています。

この取付要領書は、上記の 3 タイプについて解説したものです。
お手元の製品がどのタイプに該当するか、はじめにご確認ください。

■ 施工業者様へ

- 取り付けの際は、必ずこの取付要領書の内容と取扱説明書の「安全上のご注意」をよく読み、正しく作業を行ってください。
- 取付作業が完了しましたら、この取付要領書は施工主様へお渡しください。
- 別売品の取り付けについては、別売品に付属の説明書も併せてご確認ください。
- 取付方法を動画でご確認いただけます。(別途通信料が必要となります)

■ 施工主様へ

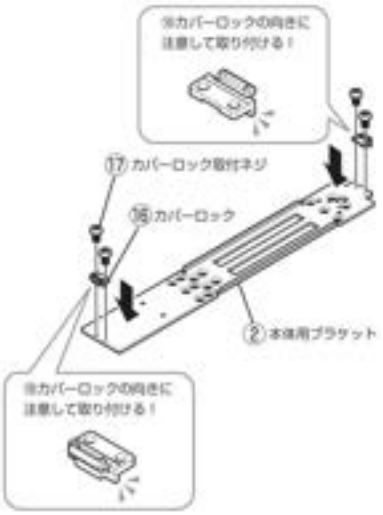
- この取付要領書および取扱説明書は大切に保管し、必要な時にお読みください。
- 電池パックセットが必要な場合は、お近くの販売店または当社営業所にご相談ください。

詳細情報WEBサイト
「ドア開閉装置 RUCAD(ラクアド)」

79828628 第2版 24.02

ドア開閉装置RUCAD（RU-020）取付要領書 正誤表

下記の通り、訂正をさせていただきます。

<table>
<tr><th>ページ</th><th>項目</th><th>誤</th><th>正</th></tr>
<tr><td>P.23～
P.25</td><td>1-3-5.</td><td>・「電池パック付き」の場合は以下の
手順に従い、①本体に㊹電池パックを
組み付けてください。</td><td rowspan="3">・「電池パックセット付き」の場合は①本体に
㊹電池パックを組み付けて出荷するため
作業は不要です。</td></tr>
<tr><td>P.26
P.36
P.44</td><td>※電池パック
付き</td><td>・基板ブラケットを開けて組み付けてください。
P.23参照
</td></tr>
<tr><td>P.30
P.40
P.48</td><td>■作業手順</td><td>・「電池パック付き」の場合は、P.23の
「1-3-5.本体に電池パックを組み付ける」を
参照して㊹電池パックを先に組み付けて
ください。</td></tr>
<tr><td>P.31
P.41
P.49</td><td>2.</td><td>・②本体用ブラケットの両端に、⑯カバーロック
2つを⑰カバーロック取付ネジ(4本)で
取り付けます。
 
</td><td>・②本体用ブラケットに⑯カバーロック(2個)と
⑰カバーロック取付ネジ(4本)を取り付けて
出荷するため作業は不要です。</td></tr>
</table>

目次

1.はじめに …… 3

1−1. 安全上のご注意 ……3
1−2. 梱包内容 ……9
1−3. 取付前の準備 …… 14
1−3−1. 取り付けるドアの確認 …… 14
1−3−2. 既存のドアクローザを取り外す …… 15
1−3−3. 取付・取替対応範囲の確認 …… 21
1−3−4. 配線方法の確認…… 23
1−3−5. 本体に電池パックを組み付ける …… 23

2.パラレルタイプの取付方法 ……26

2−1. 構成品一覧 …… 26
2−2. 取付穴の加工方法 …… 27
2−3. 本体の取付方法 …… 30

3.スタンダードタイプの取付方法 ……36

3−1. 構成品一覧 …… 36
3−2. 取付穴の加工方法 …… 37
3−3. 本体の取付方法 …… 40

4.トラックレールタイプの取付方法 ……44

4−1. 構成品一覧 …… 44
4−2. 取付穴の加工方法 …… 45
4−3. 本体の取付方法 …… 48

5.配線……54

5−1. 扉枠内配線の場合 …… 54
5−2. 露出配線の場合 …… 59
5−3. 社外品の取り付け …… 64
5−3−1. 無電圧接続…… 64
5−3−2. 基板ハーネス追加…… 64
5−4. コネクターの配線例 …… 65

6.仕上げ……66

6−1. 切替スイッチの設定を確認する …… 66
6−2. 仕上げ …… 67

7.補修部品・仕様……71

7−1. 電池パックの交換方法 …… 71
7−2. 仕様 …… 74

1.はじめに

「RUCAD（ラクアド）」をお買い上げいただきありがとうございます。

本製品は一般的な建築物のドアに使用できます。
現在ご利用されている玄関ドアに後付けすることができますが、取付前にご利用が可能か十分ご確認ください。
また、本製品は指挟みを防ぐための製品ではありません。予めご了承ください。

1−1. 安全上のご注意

取り付けの前に、この「取付要領書」を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、ご使用になる方や他の人々への危険や損害を未然に防止するためのものです。
お読みになったあとは、お使いになる方がいつでもご確認いただける場所に保管してください。

■ 表示の説明

⚠警 告	死亡や重傷を負う可能性がある内容です。

⚠注 意	傷害や物的損害が発生する可能性がある内容です。

⃠	してはいけない禁止の内容です。

❗	必ず実行していただく強制の内容です。

■ 使用上のご注意

⚠ 警 告

⃠ **電源プラグやコードが傷んでいたり、コンセントの抜き差しが緩いままで使用したりしないでください。**
火災や発熱の原因になります。

⃠ **本製品には同梱の AC アダプター以外を使用しないでください。**
火災や発熱の原因になります。

⃠ **濡れた手で電源や電源コード、配線、プラグの抜き差しを絶対にしないでください。**
感電や火災の原因になり大変危険です。触る際は、保護手段（絶縁グローブなど）を使用してください。

⃠ **ガタついているコンセントは使わないでください。**
火災や感電の原因になります。

⃠ **コンセントや配線器具の定格を超えて本製品を使用しないでください。**
たこ足配線　など。

⃠ **本製品を指定の電源（AC100V）以外で使用しないでください。**
火災や発熱の原因になります。

⚠ 警 告

雷が発生しているときは、本体やプラグなどに触らないでください。
火災や感電の原因になります。

本製品に水をかけないでください。
感電やショートの原因になります。

本製品を分解、改造しないでください。
故障の原因になります。

本製品が破損するようなことをしないでください。
引っ張る、ねじる、無理に曲げる、傷を付ける、加工する
加熱する、重い物を載せる、束ねる、挟み込む、落とす　など。

本製品の性能、または適用範囲を超えたドアや防火扉には使用しないでください。
製品の故障や、思わぬケガにつながるおそれがあります。

本体用ブラケットおよび本体は、付属のネジでドアにしっかりと固定してください。（本体用ブラケットを固定する本体用ブラケット固定ネジ 4 本は最後までしっかりと締め付けてください）
ネジの締め付けが緩いと本体が落下し、ケガをするおそれがあります。

使用中に煙が出る、異臭がするなどの異常が発生した場合は速やかに使用を止めて、プラグを抜いてください。
思わぬ事故の原因になります。

万が一、プラグに水がかかった場合は使用を止めてください。
感電のおそれがあります。

定期的に点検・清掃を実施してください。（取扱説明書の P.27「5 － 1 . お手入れ」参照）
ほこり、粉塵などが多い状態で使用すると火災のおそれがあります。

既存のドアクローザを外す際、手順を守って取り外してください。
手順を守らないと、不意にドアが閉まったり、脚立から落ちたり、指を挟んだりするおそれがあり、大変危険です。

本製品の取扱いには専門知識が必要です。本製品を取り外す、または修理する際は、必ず専門業者に依頼してください。
重傷または死亡の危険があります。

本製品の正確な操作を保証するため、メーカーの認定を受けた部品のみを使用してください。

本製品が破損したり変形したりしないよう、取り扱いには十分注意してください。
破損や変形をしている製品を取り付けて使用すると、思わぬ事故の原因になります。

⚠ 警告

取付作業時、本体はしっかり持って作業してください。
取付作業は上を向いて作業します。本体を落とすと、顔に当たり危険です。また、本体が地面に落ち、故障するおそれがあります。

本体を取り付ける際は、同梱されているネジを使用し、しっかりと締め付けてください。
締め付け不良は思わぬ事故につながるおそれがあります。

穴あけ加工時、切り粉が目に入らないように注意してください。
穴あけ加工時は、保護ゴーグルなどを装着し、作業を行ってください。

脚立を使用する際は、安定した場所で使用してください。
転落してケガをするおそれがあります。

脚立などに乗って作業をする際は、バランスを崩して落ちないように注意してください。

本体の設定を変更する際は、設定値に十分注意してください。
設定値が適切でないと、ドアが不意に動いたり、開閉動作に問題が生じたりします。

ドアの開閉時、可動部やドアへの接触に注意してください。
服などが挟まれたり、引っかかったりして大変危険です。

強風時のドアの開閉には十分注意してください。
ドアが風にあおられ、急に閉まったり、開いたりして、大変危険です。

長時間の使用により本体が過熱する場合は、すぐに本体の電源を切り、しばらく使用を控えてください。
そのまま使用すると、過熱により故障や火災の原因になります。

本製品には寿命があります。動きがおかしくないか定期的に確認してください。
寿命が過ぎても使用し続けると、思わぬ事故の原因になります。

本製品に使用しているネジに緩みがないか定期的に確認してください。
ネジが緩んでいる場合は増締めを行ってください。

調整や設定を行なう際は、必ずドアに手を添えて行ってください。
手を添えないと、ドアが不意に動きケガをするおそれがあります。

メンテナンスを行う際は、必ず電源スイッチを「OFF」にしてから行ってください。
電源スイッチを「ON」のままメンテナンスを行うと、ドアが不意に動きケガをするおそれがあります。

⚠ 注 意

ドアの開閉中は吊元側や本体の可動部に手を入れないでください。

無理やりドアを開閉しないでください。
勢いよくドアが開閉し、人やものに衝突するおそれがあります。

風雨にさらされる場所や、浴室などの湿気が多い場所のドアには取り付けないでください。

適用ドアサイズを超えたドアには取り付けないでください。
本製品の適用ドアサイズ

ドア巾(mm)	ドア重量(kg)
800～1050	15～85

本製品の使用温度範囲は 0℃～ 40℃です。温度が -10℃以下および 50℃以上、湿度が 95%以上の場所では使用しないでください。
温度変化により、ドアの開閉速度が変化しますが故障ではありません。

本製品は屋内用です。
雨や雪がかかる場所で使用しないでください。

本製品のアームに物をひっかけないでください。
アームに負荷が掛かり、アームが破損するおそれがあります。

本体を濡らさないでください。
故障の原因になります。

ドアが自動で動いている際に、手で無理やり動かさないでください。
故障するおそれがあります。

カバーおよび天面板を付けてご使用ください。

長期間使わないときは安全のため電源プラグおよび電池パックのコネクターを抜いてください。
電池パックのコネクターを抜かないまま長期間放置すると、電池パックが放電し、電池容量が空になります。

本製品を取り付ける際は、取付位置や取付寸法を十分確認してください。
間違った方法で取り付けると、本体が正常に動作しません。

⚠ 注 意

取り外しや取り付けを行う際は、作業に適した服装で、周囲の安全を十分確保した上で作業を行ってください。
ケガをするおそれがあります。

既存のドアクローザを取り外したり、本体を取り付けたりする際、ネジの破損には十分注意してください。
ネジが破損すると、取付作業が不可になるおそれがあります。

カバーや天面板が汚れた際は、水を含ませたやわらかい布を固く絞り、軽く拭き取ってください。
ひどい汚れは、水でうすめた中性洗剤かアルコールを布にふくませて拭き取り、乾いた布で仕上げてください。薬品を使用すると、カバーが変色したり、割れたりするおそれがあります。

ドアの経年劣化にご注意ください。
ドアの経年劣化（垂れ下がり、反り、曲がり、歪みなど）によって、本製品が正常に動作しない場合があります。ドアが経年劣化している場合は、速やかに建築物の管理責任者や施工メーカー、建具メーカーにご相談ください。

■ 電池パックに関するご注意

⚠ 警 告

保管する場合は、電池パックを気密構造のケースに入れないでください。
電池パックを破損させたり身体に障害をあたえる原因になります。

水や海水などにつけたり、端子部分を濡らしたりしないでください。
発熱したり、端子などのサビの原因になります。

外装チューブを外したり、傷を付けたりしないでください。
液漏れや、発熱の原因になります。

液漏れ、変色、変形など異変に気付いたときは使用しないでください。

⚠ 警告

電池パックが液漏れ、発熱、破裂する原因になりますので、下記事項を必ずお守りください。

- 火中に投入したり、加熱しないでください。
- ⊕端子と⊖端子を針金などの金属で接続しないでください。また、金属製ネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
- 本製品に接続すると、自動で充電が開始されます。本製品以外で充電しないでください。
- 分解、改造しないでください。発熱、発火したり、強アルカリ性の液が飛散して危険です。
- 直接はんだ付けしないでください。
- 本製品以外には使用しないでください。

漏れ出た液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で十分洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

漏れ出た液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こす場合がありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。

誤って口に入れることがないようにしてください。特に乳幼児の手の届かないところに置いてください。
万が一、口に入れて飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。

⚠ 注意

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

直射日光の強いところや、炎天下やストーブの前面などの高温の場所で使用、放置しないでください。
液漏れしたり、性能や寿命を低下させる原因となります。

ご使用済みの電池パックは貴重な資源ですので、一般のごみと一緒に廃棄しないでください。
端子にテープなどを貼り付け、絶縁してからリサイクルにご協力ください。

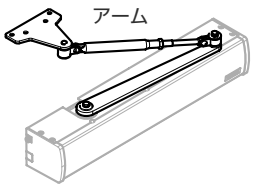
電池パックを使用しない場合、本製品から取り外して、-20℃～ +30℃の温度で湿度の低い場所で保管してください。

電池パックには寿命があります。
同時期に使用開始した場合でも使用環境温度や充放電回数によって寿命が異なりますので、使用時間が短くなった時は寿命と判断し、新しい電池パックと交換してください。

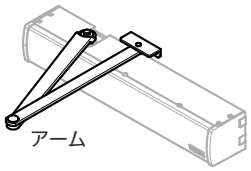
1−2. 梱包内容

- 本製品は、アームの形状によってパラレルタイプ・スタンダードタイプ・トラックレールタイプに分かれています。
- 各アームのタイプによって梱包内容が異なります。取り付け前に内容物がそろっているか確認してください。

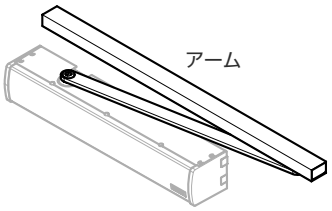
パラレルタイプ

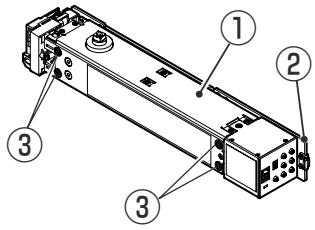
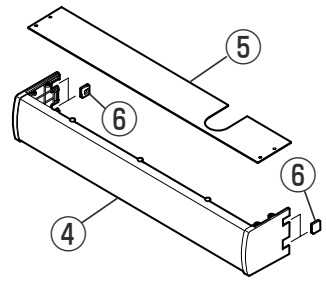


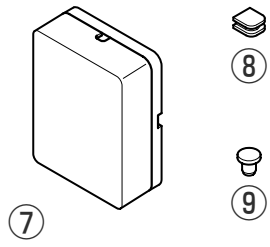
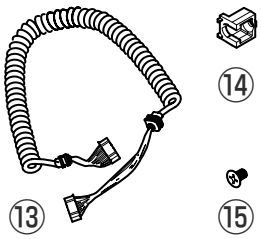
スタンダードタイプ



トラックレールタイプ



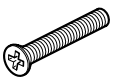
部　品	No.	部品名称	パラレルタイプ	スタンダードタイプ	トラックレールタイプ
			個数	個数	個数
	①	本体 （基板ブラケット固定ネジは本体に固定されています）	1	1	1
	②	本体用ブラケット	1	1	1
	③	本体用ブラケット固定ネジ （本体に固定されています）	4	4	4
	④	カバー	1	1	1
	⑤	天面板	1	1	1
	⑥	カバー用ブッシング （カバーに固定されています）	4	4	4

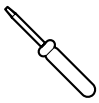
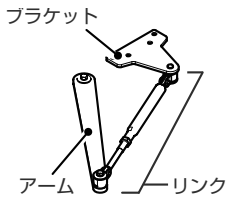
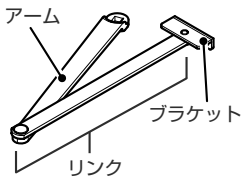
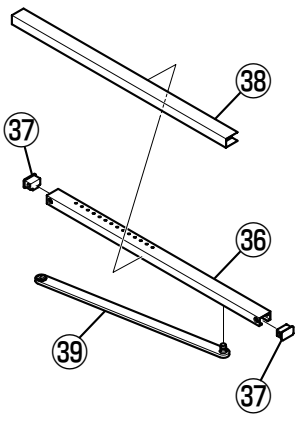
部　品	No.	部品名称	パラレルタイプ 個数	スタンダードタイプ 個数	トラックレールタイプ 個数
 ⑦　⑧　⑨	⑦	電源BOX （取付ネジ・両面テープ付き）	1	1	1
	⑧	ブッシング（上部用） （電源BOXの中に入っています）	1	1	1
	⑨	ブッシング（下部用） （電源BOXの中に入っています）	1	1	1
 ※1	⑩	電源コード	1	1	1
〈扉枠内配線セット〉※2 ⑪　⑫	⑪	配線コード（扉側） （コード長：1.5m）	1	1	1
	⑫	配線コード（枠側） （コード長：3.0m）	1	1	1
〈露出配線セット〉※3  ⑬　⑭　⑮	⑬	配線コード （コード長：0.28m）	1	1	1
	⑭	カールコード受け	1	1	1
	⑮	カールコード受け 取付ネジ	2 （予備：1）	2 （予備：1）	2 （予備：1）
 ⑯　⑰	⑯	カバーロック	3 （予備：1）	3 （予備：1）	3 （予備：1）
	⑰	カバーロック取付ネジ	6 （予備：2）	6 （予備：2）	6 （予備：2）

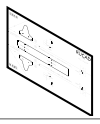
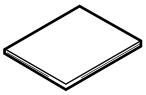
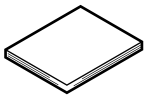
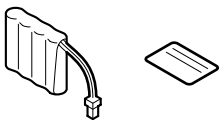
※1 ⑩電源コードのコード長は、「扉枠内配線」の場合は1.0m、「露出配線」の場合は3.0mです。

※2 「RU-021P」、「RU-021P(-B)」、「RU-021H」、「RU-021H(-B)」、「RU-021T」、「RU-021T(-B)」のみ同梱されています。

※3 「RU-022P」、「RU-022P(-B)」、「RU-022H」、RU-022H(-B)」、「RU-022T」、「RU-022T(-B)」のみ同梱されています。

部　品	No.	部品名称	パラレルタイプ 個数	スタンダードタイプ 個数	トラックレールタイプ 個数
	⑱	電池 BOX 用カバー	1	1	1
 ⑲　⑳	⑲	追加基板用ハーネス	1	1	1
	⑳	バンド	2	2	2
	㉑	基板ブラケット 固定ネジ	1 （予備）	1 （予備）	1 （予備）
	㉒	⊕サッシ用皿小ネジ M5×0.8　L=12	5 （予備：1）	4	4
	㉓	⊕タッピンネジ皿小頭 Φ5，L=25	4	4	4
	㉔	⊕六角ボルト （3点セムス） M5×0.8　L=10	1	1	—
	㉕	アーム結合用ワッシャ	1 （予備）	—	1
	㉖	⊕丸皿小ネジ M5×0.8　L=12	4	—	—
	㉗	⊕ナベ小ネジ M5×0.8　L=12	—	2	—
	㉘	六角穴付皿ボルト M5×0.8　L=16	—	—	1
	㉙	⊕皿小ネジ M5×0.8　L=35	—	—	2

部　品	No.	部品名称	パラレルタイプ 個数	スタンダードタイプ 個数	トラックレールタイプ 個数
	㉚	カバー組立ネジ	5 （予備：1）	5 （予備：1）	5 （予備：1）
	㉛	スパナ	1	1	—
	㉜	六角棒スパナ （呼び3）	—	—	1
	㉝	精密ドライバー（−）	1	1	1
	㉞	アームASSY	1	—	—
	㉟	アームASSY	—	1	—
	㊱	ガイドレール	—	—	1
	㊲	キャップ （ガイドレールに固定されています）	—	—	2
	㊳	レールカバー （ガイドレールに固定されています）	—	—	1
	㊴	アーム	—	—	1

部　品	No.	部品名称	パラレルタイプ 個数	スタンダードタイプ 個数	トラックレールタイプ 個数
	㊵	型紙	1	1	1
	㊶	自動ドア用ステッカー	1	1	1
	㊷	取扱説明書	1	1	1
	㊸	取付要領書 （本書）	1	1	1
〈電池パックセット〉※4  ㊹　㊺	㊹	電池パック	1	1	1
	㊺	電池パック交換時期表示シール	1	1	1

※4 電池パックセット付きの場合のみ同梱されています。電池パックセットが必要な場合は、お近くの販売店または当社営業所にご相談ください。

1−3. 取付前の準備

1−3−1. 取り付けるドアの確認

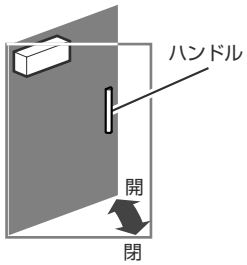
- 下図を参考に、本製品を取り付けるドアの開き方向を確認し、アームのタイプを確認してください。
- 以降は、お手元のアームのタイプの取付手順に沿って、作業を進めてください。
- 本書では「右開き(R)」の取付方法で説明しています。「左開き(L)」も同様に作業を進めてください。

⚠ 注 意

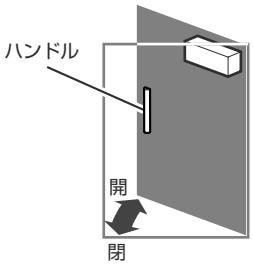
本製品は屋内専用です。 屋外や水のかかる場所、湿気の多い場所には取り付けることができません。

外開きのドア ➡ 「パラレルタイプ(P.26)」の手順をご覧ください

左開き(L)

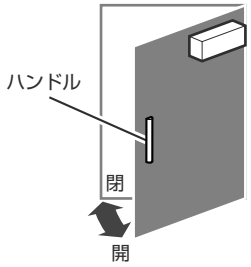


右開き(R)

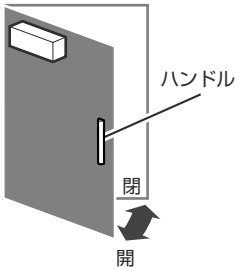


内開きのドア ➡ 「スタンダードタイプ(P.36)/トラックレールタイプ(P.44)」の手順をご覧ください

左開き(L)



右開き(R)

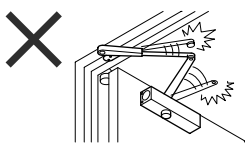


1−3−2. 既存のドアクローザを取り外す

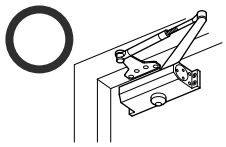
- お客様のドアにドアクローザが付いている場合は、既存のドアクローザを取り外してください。
- 既存のドアクローザの取り外しは、アームの種類や本体のネジのタイプによって取外方法が異なります。
- ドアクローザが付いていないドアに本製品を取り付ける場合は、P.21 の「1−3−3.取付・取替対応範囲の確認」へお進みください。

⚠注 意

既存のドアクローザはドアを閉めた状態で取り外してください（裏側から不意にドアが開けられないように注意してください）。
ドアを開けた状態で取り外すと、アームとリンクの連結を外した瞬間にアームが勢いよく戻り、ケガをするおそれがあります。



ドアを開けた状態



ドアを閉めた状態

ドアクローザの落下に注意してください。

アームやブラケットを取り外す際、スパナやドライバーを使用してください。取り外しができない場合は、施工業者様へご依頼ください。

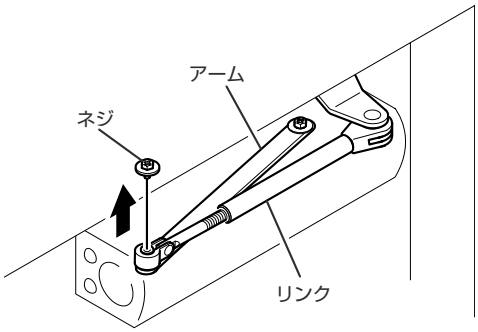
■ 使用するもの

手袋

スパナ

プラスドライバー

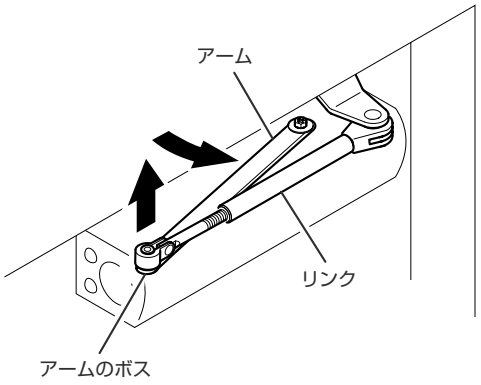
■ 既存のドアクローザがパラレルタイプの場合



1. アームとリンクを結合しているネジを外します。

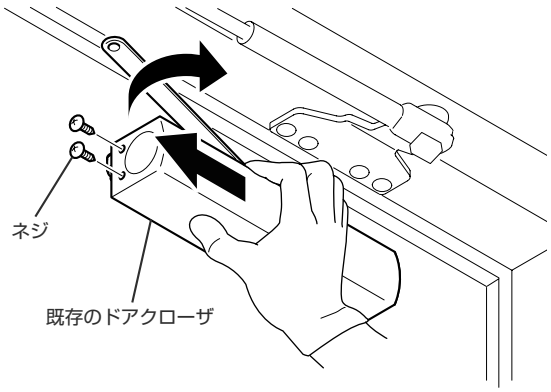
⚠注 意

アームとリンクを結合しているネジを取り外す前に他のネジを緩めたり、外したりしないでください。既存のドアクローザが落下し、ケガをするおそれがあります。



2. アームを手前に引きながらリンクを上に持ち上げて、アームのボスからリンクを引き抜きます。

● ドアとドアクローザを固定しているネジが見えない場合

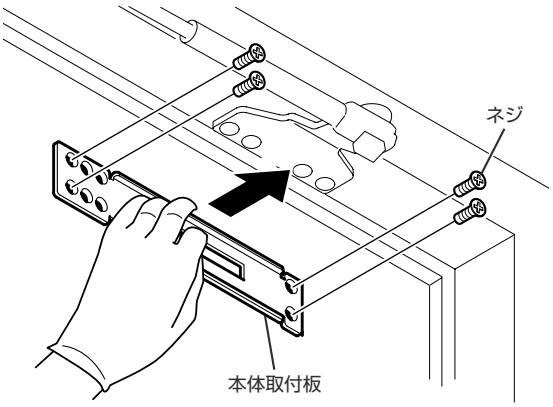


3. 既存のドアクローザ側面のネジを外します。

4. 既存のドアクローザをドアのハンドル側へスライドし、取り外します。

⚠ 注 意

ⓘ ネジを外す際は、必ず手でドアクローザを支えながら作業してください。ドアクローザが落下し、ケガをするおそれがあります。

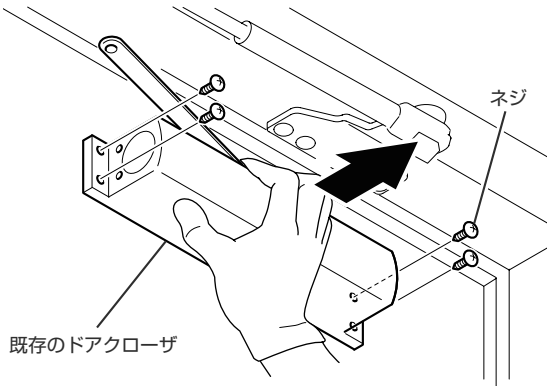


5. ドアと本体取付板を固定しているネジを外し、本体取付板を取り外します。

⚠ 注 意

ⓘ ネジを外す際は、必ず手で本体取付板を支えながら作業してください。本体取付板が落下し、ケガをするおそれがあります。

● ドアとドアクローザを固定しているネジが見える場合

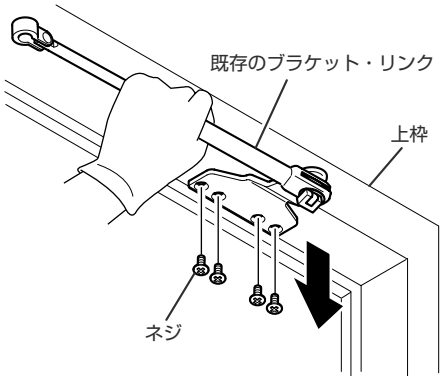


3. ドアと既存のドアクローザを固定しているネジを外し、ドアクローザを取り外します。

⚠ 注 意

ネジを外す際は、必ず手でドアクローザを支えながら作業してください。ドアクローザが落下し、ケガをするおそれがあります。

● 共通



6. 上枠と既存のブラケット・リンクを固定しているネジを外し、ブラケット・リンクを取り外します。

⚠ 注 意

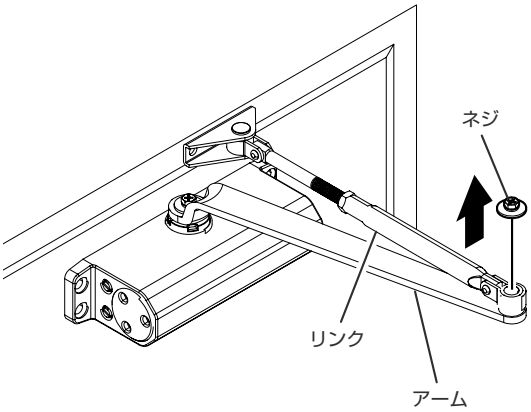
ネジを外す際は、必ず手でブラケット・リンクを支えながら作業してください。ブラケット・リンクが落下し、ケガをするおそれがあります。

ブラケット・リンクを手で支える際、なるべく根元（ブラケット側）を持ってください。

既存のドアクローザおよびブラケット・リンクを廃棄する場合は、各自治体の区分に従って処分してください。

本製品は専用品で構成されています。既存のブラケット・リンクを利用して、本製品を取り付けないでください。

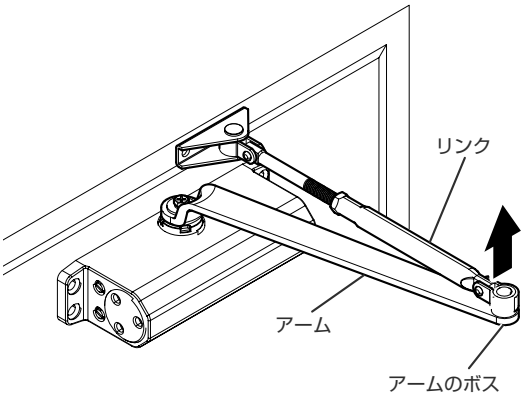
■ 既存のドアクローザがスタンダードタイプの場合



1. アームとリンクを結合しているネジを外します。

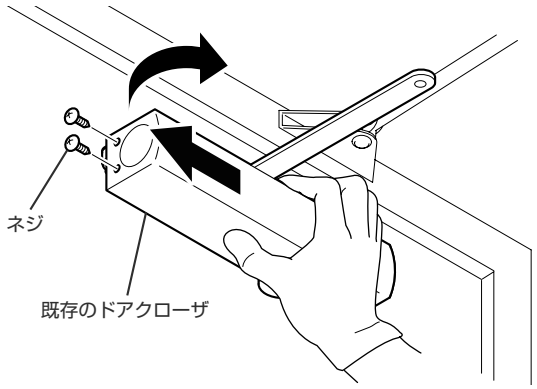
⚠ 注 意

⃠ アームとリンクを結合しているネジを取り外す前に他のネジを緩めたり、外したりしないでください。既存のドアクローザが落下し、ケガをするおそれがあります。



2. アームを押さえながらリンクを上に持ち上げて、アームのボスからリンクを引き抜きます。

● ドアとドアクローザを固定しているネジが見えない場合

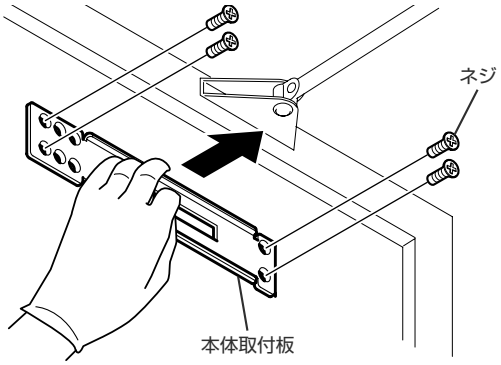


3. 既存のドアクローザ側面のネジを外します。

4. 既存のドアクローザをドアのハンドル側へスライドし、取り外します。

⚠ 注 意

ネジを外す際は、必ず手でドアクローザを支えながら作業してください。ドアクローザが落下し、ケガをするおそれがあります。

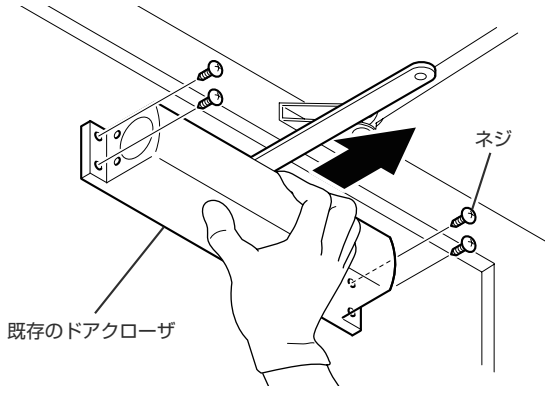


5. ドアと本体取付板を固定しているネジを外し、本体取付板を取り外します。

⚠ 注 意

ネジを外す際は、必ず手で本体取付板を支えながら作業してください。本体取付板が落下し、ケガをするおそれがあります。

● ドアとドアクローザを固定しているネジが見える場合

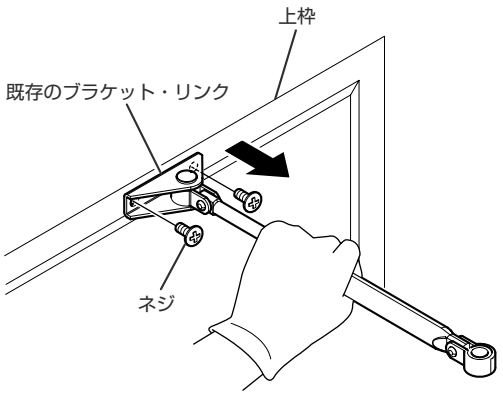


3. ドアと既存のドアクローザを固定しているネジを外し、ドアクローザを取り外します。

⚠ 注 意

ネジを外す際は、必ず手でドアクローザを支えながら作業してください。ドアクローザが落下し、ケガをするおそれがあります。

● **共通**



6. 上枠と既存のブラケット・リンクを固定しているネジを外し、ブラケット・リンクを取り外します。

⚠ 注 意

- **ネジを外す際は、必ず手でブラケット・リンクを支えながら作業してください。ブラケット・リンクが落下し、ケガをするおそれがあります。**
- **ブラケット・リンクを手で支える際、なるべく根元（ブラケット側）を持ってください。**
- **既存のドアクローザおよびブラケット・リンクを廃棄する場合は、各自治体の区分に従って処分してください。**
- **本製品は専用品で構成されています。既存のブラケット・リンクを利用して、本製品を取り付けないでください。**

1−3−3. 取付・取替対応範囲の確認

- すでにドアクローザが取り付いている場合、下記①〜④の対応範囲であれば既存の取付穴を利用し、本製品を直ぐに取り付けることができます（ただし、ドアの最大開き角度が小さくなる場合があります）。
- 取付・取替可能な寸法につきましては、下記の図をご参照ください。
- 本製品を新たに取り付ける場合、または既存の取付穴が使用できない場合は、P.27 の「2−2. 取付穴の加工方法」をお読みになり、新たに取付穴を加工してください。

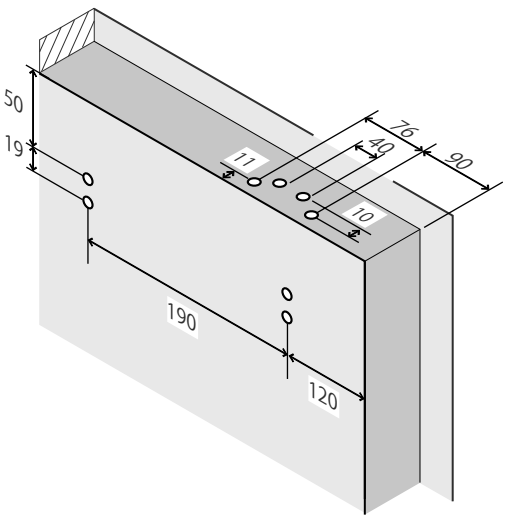
■ パラレルタイプを取り付ける場合

①本体取付ピッチ（縦）　19mmのみ対応

②本体取付ピッチ（横）　190mmまたは178mmに対応

③ブラケットピッチ（内側）　40mmのみ対応 ┐
④ブラケットピッチ（外側）　76mmのみ対応 ┘ 対応できない場合、販売店または お近くの当社営業所にご連絡ください。

標準取付時（新規取付）

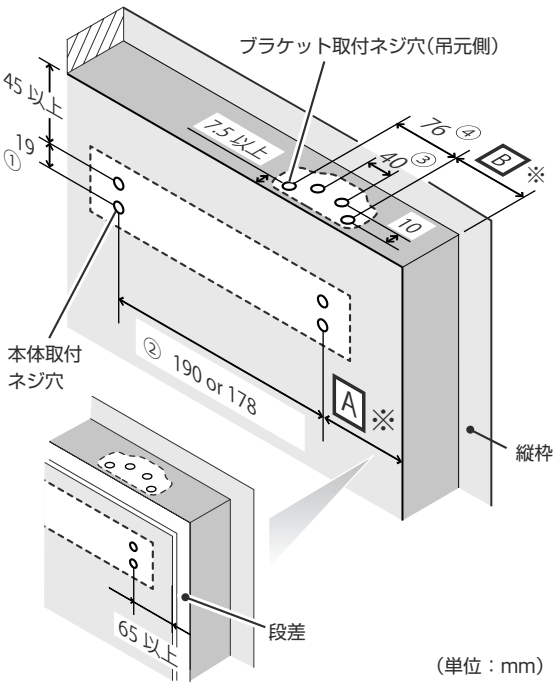


（単位：mm）

図は右開き (R) を表示しています。

（左開き（L）のときは逆位置になります）

既存取付穴使用時



（単位：mm）

【 A 寸法】縦枠から本体取付ネジ穴（吊元側）までの寸法
【 B 寸法】縦枠からブラケット取付ネジ穴（吊元側 ）までの寸法

※ A 寸法から B 寸法を差引いた寸法が
0 〜 30mm に対応しています。

■ スタンダードタイプを取り付ける場合

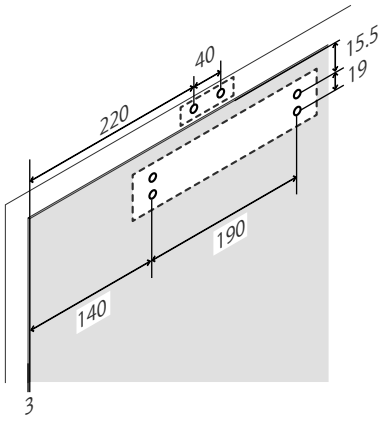
①本体取付ピッチ（縦）　19mmのみ対応

②本体取付ピッチ（横）　190mmまたは178mmに対応

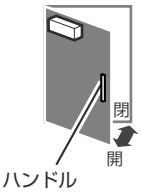
③ブラケットピッチ（内側）　40mmまたは45mmに対応

※ 対応できない場合、販売店またはお近くの地域の当社営業所にご連絡ください。

標準取付時（新規取付）

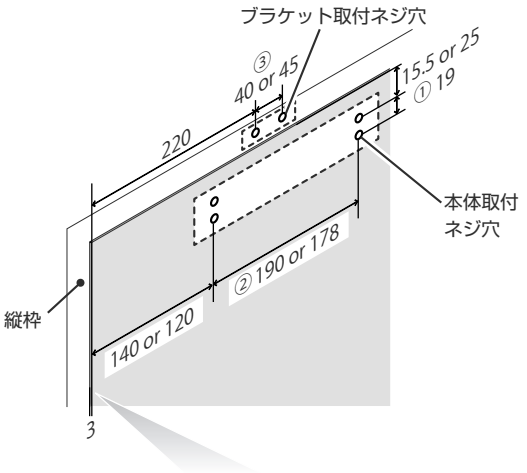


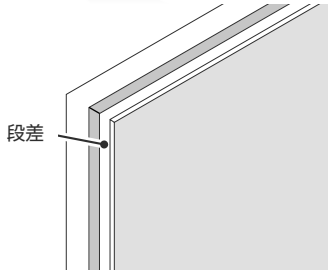
（単位：mm）



図は右開き (R) を表示しています。
（左開き（L）のときは逆位置になります）

既存取付穴使用時





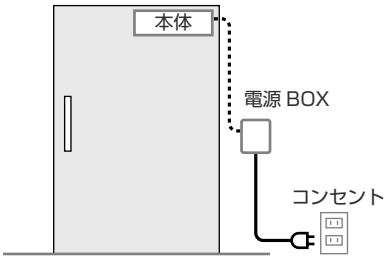
取付面に段差がある場合は
取り付けができません

（単位：mm）

1−3−4. 配線方法の確認

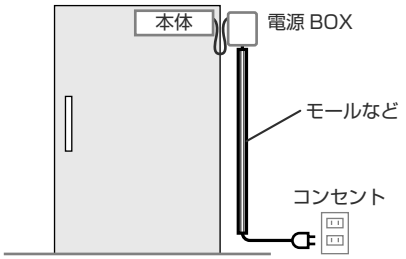
- 配線は、ドアや壁の中に配線する「扉枠内配線」と枠周りに配線する「露出配線」があります。
- ドアの近くにコンセントがない場合、延長コードが必要です。 延長コードはお客様でご用意ください。
- 設置工事を行う場合は、施工業者にご依頼ください。

扉枠内配線（P.54）



- 扉枠内配線は、施工業者にご依頼ください。

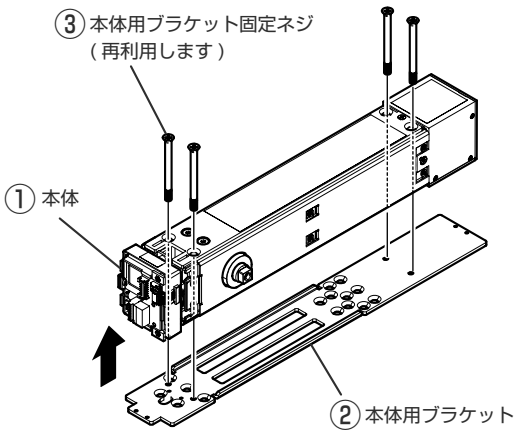
露出配線（P.59）



- 露出配線を行なう際、配線の固定具・モールなどは、お客様でご用意ください。

1−3−5. 本体に電池パックを組み付ける

- 「電池パックセット付き」の場合は以下の手順に従い、①本体に㊹電池パックを組み付けてください。「電池パックセットなし」の場合は、各タイプの取付方法(P.26〜)にお進みください。
- ㊹電池パックは充電式です。 本体に組み込んで充電を行います。
- ㊹電池パックの充電は、本体と電源が接続されている状態であれば、本体の電源が「OFF」でも充電されます。 非常時の動作を安定させるため、本体と電源は接続したままにしてください。(本製品を長期間使用しない場合は㊹電池パックは本体から取り外してください)



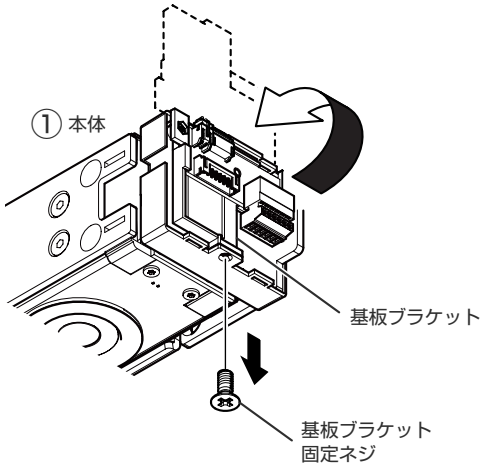
1. ①本体から②本体用ブラケットを外します。

⚠ 注 意

①本体と②本体用ブラケットを傷付けないように注意して作業を行ってください。

アドバイス

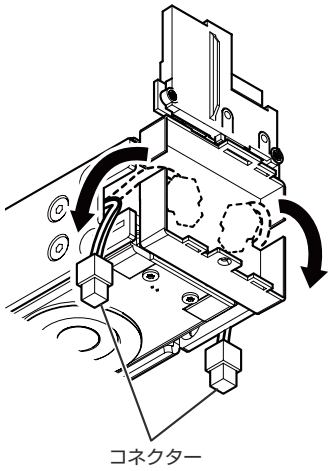
外した③本体用ブラケット固定ネジは、再利用します。手の届くところに保管してください。



2. ①本体の基板ブラケット固定ネジを外し、基板ブラケットを開きます。

⚠注 意

基板ブラケット固定ネジをなくさないように注意してください。

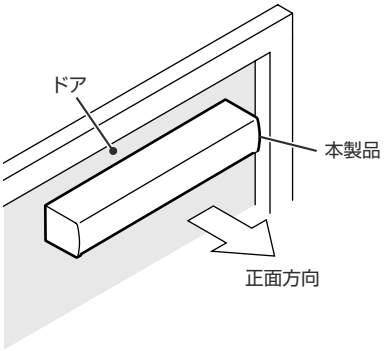


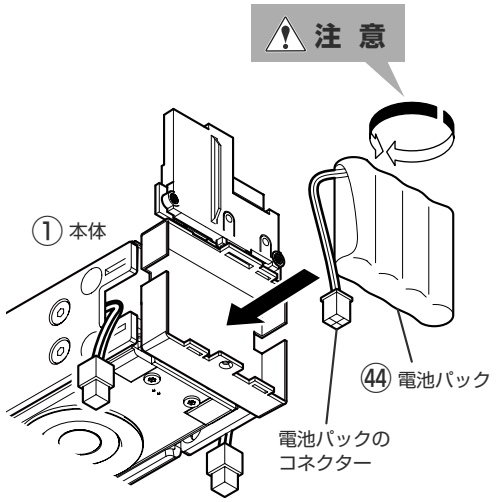
3. コネクター(2個)を取り出します。

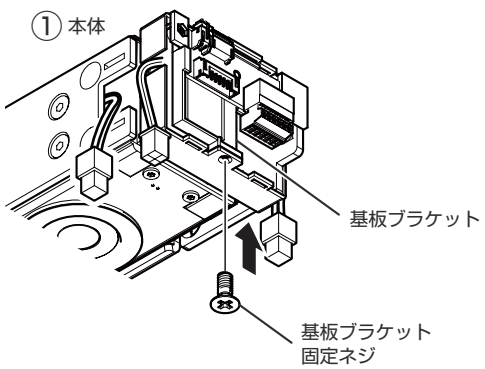
4. ㊹電池パックを①本体に組み付けます。

⚠注 意

㊹電池パックの組み付け向きは、取り付けるドアの開き方向によって変わります。本製品の正面方向に㊹電池パックのコネクターがくるように組み付けてください。



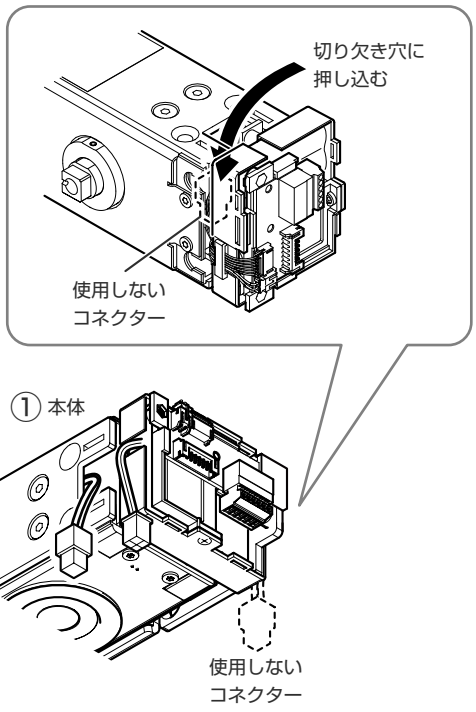




5. 基板ブラケットを閉じ、基板ブラケット固定ネジで固定します。

⚠ 注 意

コードがかみ込まないように注意してください。



6. 使用しないコネクターを①本体の切り欠き穴に押し込みます。

⚠ 注 意

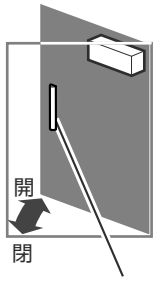
現時点でコネクターは接続しないでください。コネクターの接続は、ドアに①本体を取り付けた後で行います。

2.パラレルタイプの取付方法

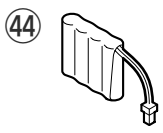
2−1. 構成品一覧

- 取り付ける前に、お手元の製品の構成品を確認してください。
- ①本体の向きに注意して取り付けてください。

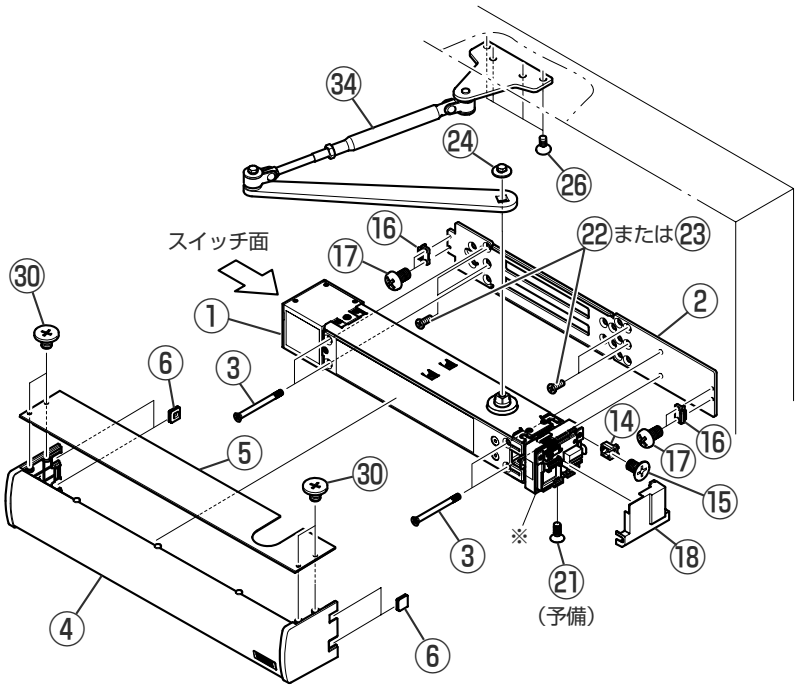
右開き(R)



※ 電池パック付き

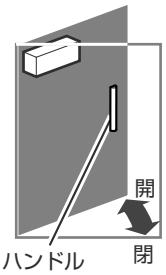


基板ブラケットを開けて
組み付けてください。
P.23 参照

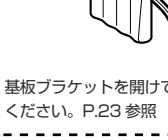


※④、⑤、⑥、㉚の組み付けは、P.67「6-2. 仕上げ」を参照してください。

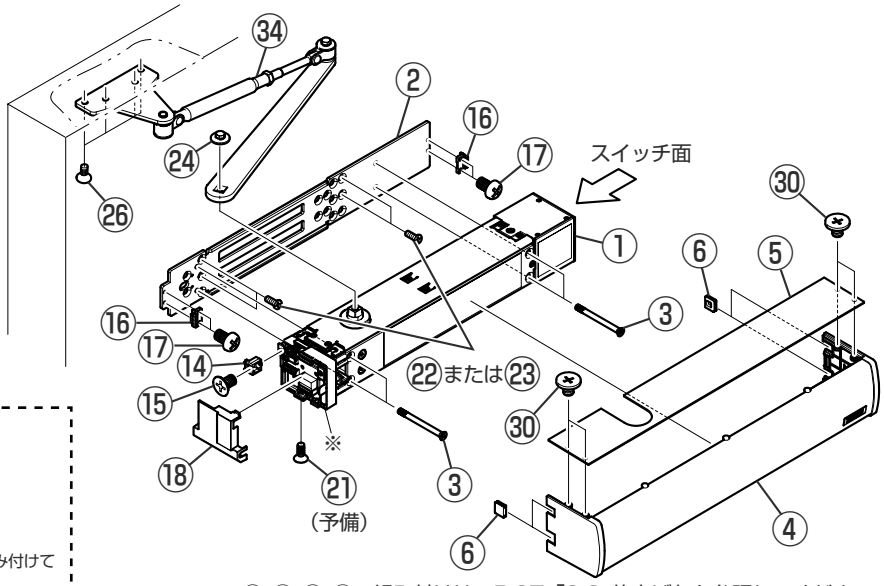
左開き(L)



※ 電池パック付き



基板ブラケットを開けて組み付けて
ください。P.23 参照



※④、⑤、⑥、㉚の組み付けは、P.67「6-2. 仕上げ」を参照してください。

2−2. 取付穴の加工方法

- パラレルタイプはドアの内側に本製品を取り付けます。
- ①本体の取り付けに使用する㊵型紙はアームのタイプによって使用方法が異なります。作業の前にお手元のアームのタイプを十分確認してください。(本製品に同梱されている型紙は一種類です)

■ 使用するもの

㊵ 型紙

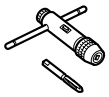
テープ

ポンチ

ハンマー

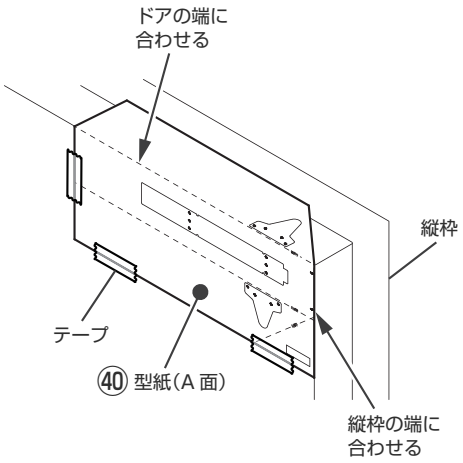
電動ドリル

ドリルビット
(Φ4.2)



タップ
(M5×0.8)

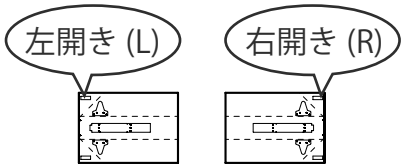
■ 作業手順



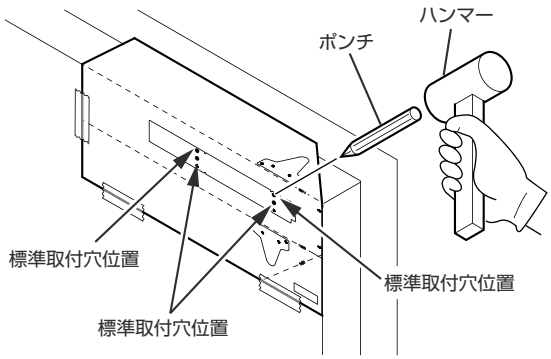
1. ㊵型紙を折り線に沿って折ります。

⚠ 注 意

㊵型紙の右開き (R) 用と左開き (L) 用が実際のドアの開き方向と合っているか確認してください。(上下反転)



2. ㊵型紙のA面を縦枠に合わせ、テープで固定します。

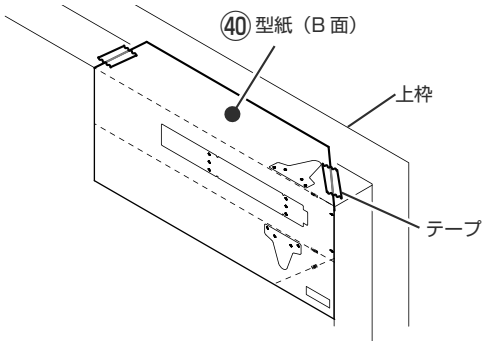


3. ㊵型紙のマークに合わせてポンチとハンマーなどで印をつけます。(4箇所)

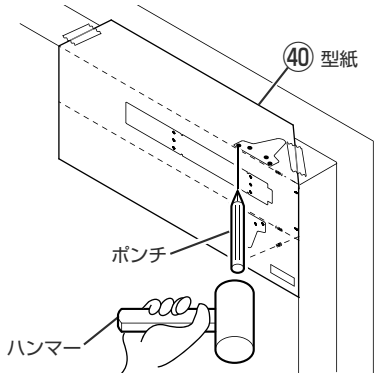
⚠ 注 意

取付穴位置には「標準取付穴」を使用してください。

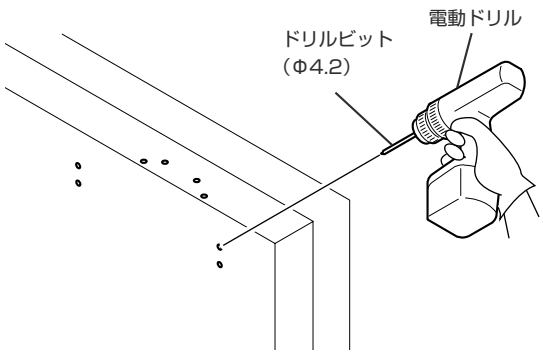
㊵型紙の内容をよく確認の上、作業を行ってください。



4. ㊵型紙のB面を上枠の下面に合わせ、テープで固定します。



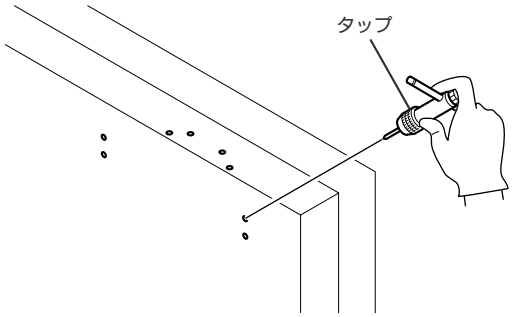
5. ㊵型紙のマークに合わせてポンチとハンマーなどで印をつけます。（4箇所）



6. ㊵型紙をはがし、Φ4.2のドリルビットを装着した電動ドリルで、印をつけた箇所に下穴をあけます。

⚠注 意

穴あけ加工時、切り粉が目に入らないように注意してください。

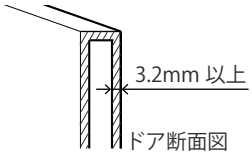


7. 下穴にタップ加工を行います。(8箇所)

⚠ 注 意

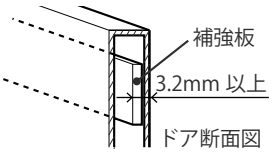
タップ加工時、切り粉が目に入らないように注意してください。

タップ加工はドアまたは上枠の板厚が3.2mm以上でなければ加工しないでください。



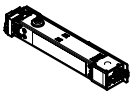
アドバイス

ドアまたは上枠内部に補強板があり、ドア表面材を含めて厚さ 3.2mm 以上である場合はタップ加工が可能です。



2−3. 本体の取付方法

■ 使用するもの



① ② ③ 本体一式

⑭ ⑮ カールコード受け一式
（露出配線の場合のみ使用します）

⑯ ⑰ カバーロック一式

㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ネジ一式

㉛ スパナ

㉞ アームASSY

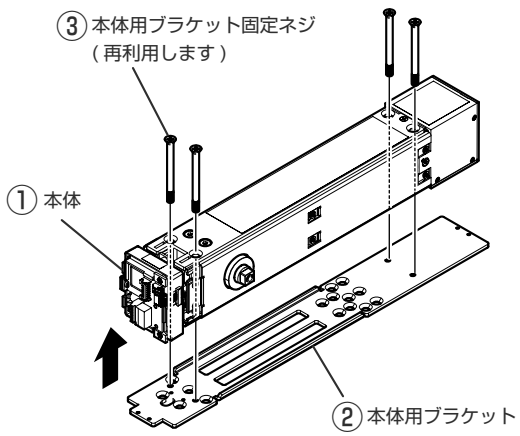
プラスドライバー

定規

■ 作業手順

「電池パックセット付き」の場合は、P.23 の「1−3−5.本体に電池パックを組み付ける」を参照して㊹電池パックを先に組み付けてください。「電池パックセットなし」の場合は、以下の手順に従い、①本体をドアに取り付けてください。

● 電池パックセットなしの場合



1. ③本体用ブラケット固定ネジ(4本)を外し、①本体から②本体用ブラケットを取り外します。

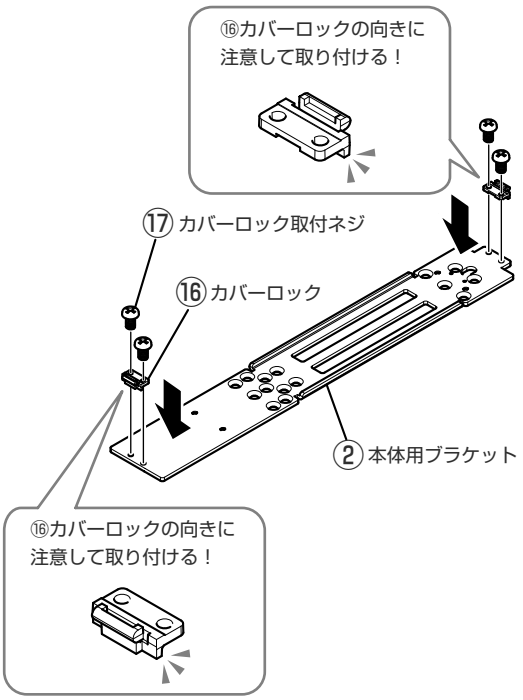
⚠ 注 意

①本体と②本体用ブラケットを傷付けないように注意して作業を行ってください。

アドバイス

外した③本体用ブラケット固定ネジは、手順9. で再利用します。手の届くところに保管してください。

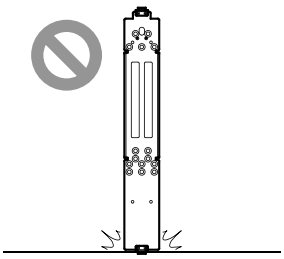
● **共通**

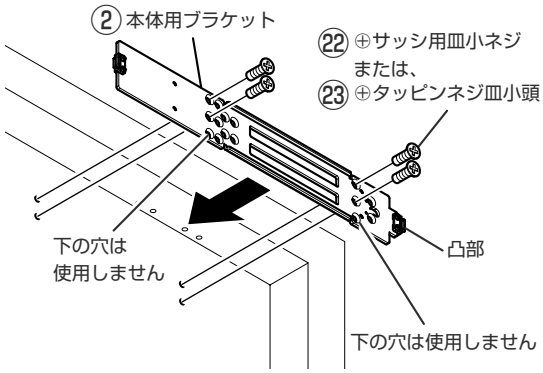


2. ②本体用ブラケットの両端に、⑯カバーロック(2個)を⑰カバーロック取付ネジ(4本)で取り付けます。

⚠ 注 意

- **⑯カバーロックは向きに注意して取り付けてください。**
- **⑯カバーロックを取り付けた後、②本体用ブラケットの両端を地面につけないでください。⑯カバーロックが破損し、④カバーの取り付けが出来なくなる可能性があります。**

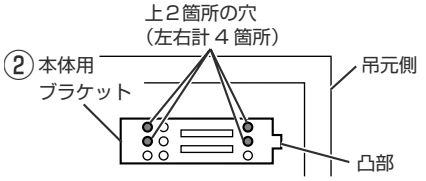


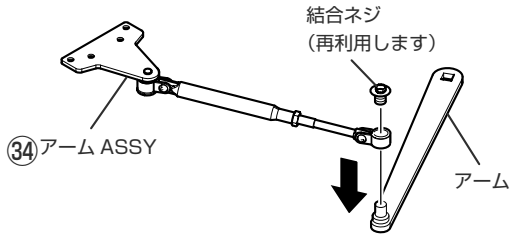


3. ②本体用ブラケットを㉒⊕サッシ用皿小ネジ(4本)または、㉓⊕タッピンネジ皿小頭(4本)でドアに取り付けます。

⚠ 注 意

- **開いている取付穴に合うピッチで取り付けを行ってください。**
- **②本体用ブラケットの凸部が吊元側になるようセットしてください。**
- **②本体用ブラケットの上の穴2箇所(左右計4箇所)を使用して固定してください。**

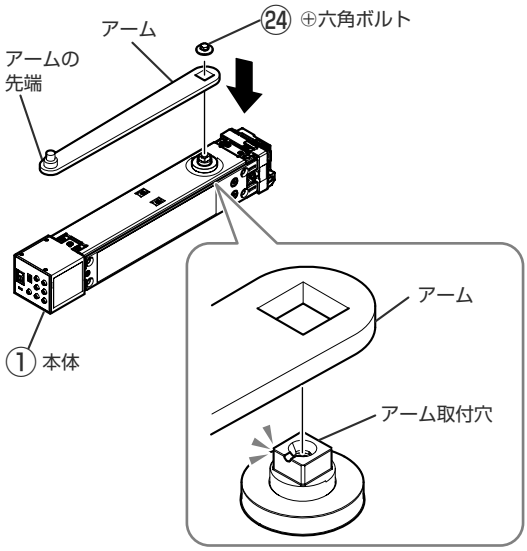




4. ㉞アームASSYの結合ネジを取り外し、アームを取り外します。

アドバイス

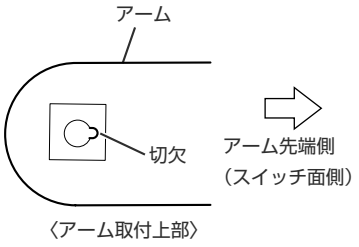
外した結合ネジは、手順 12. で再利用します。
手の届くところに保管してください。



5. ①本体にアームを㉔⊕六角ボルトで取り付けます。

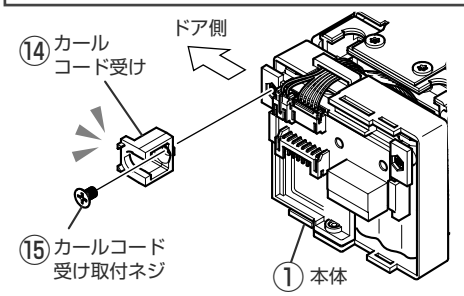
注 意

①本体のアーム取付穴には切欠があります。切欠の方向とアームの方向が合うように取り付けてください。

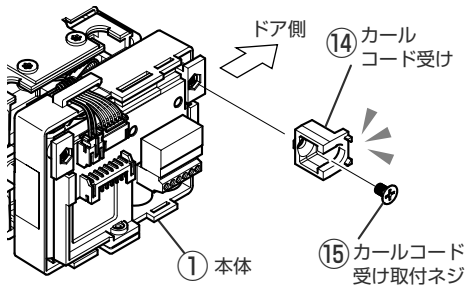


● 露出配線の場合

左開き(L)



右開き(R)

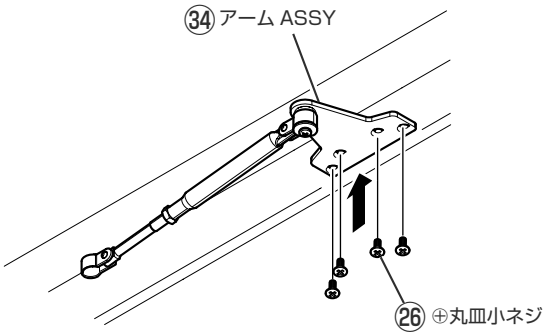


6. ⑭カールコード受けを①本体に⑮カールコード受け取付ネジで取り付けます。

⚠ 注 意

- ⑭カールコード受けは、ドア側に取り付けてください。
- ⑭カールコード受けは、向きに注意して取り付けてください。

● 共通



7. ㉞アームASSYを上枠の下面に㉖⊕丸皿小ネジ(4本)で取り付けます。

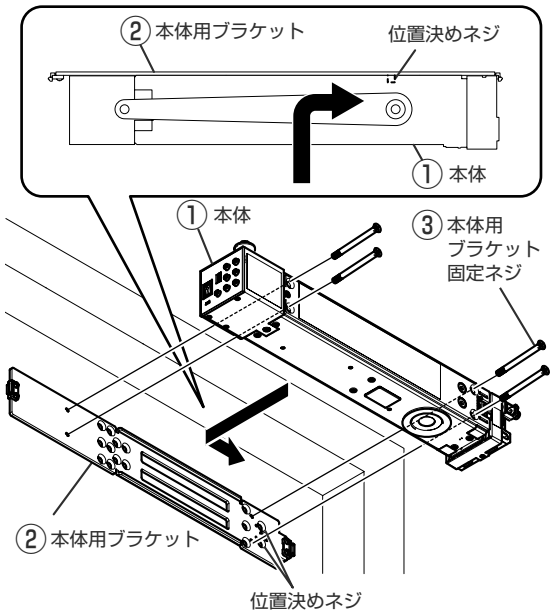
⚠ 注 意

- ㉞アームASSYを落とさないように注意してください。

アドバイス

枠に手が当たって作業がしづらい場合は、ドアを開けると作業が容易になります。

● **共通**

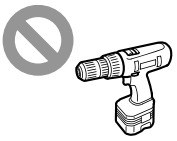


8. ②本体用ブラケットに①本体を突き当て、吊元側にスライドさせます。

9. 位置決めネジに当たり、止まった所で③本体用ブラケット固定ネジ(4本)で取り付けます。

⚠ 注 意

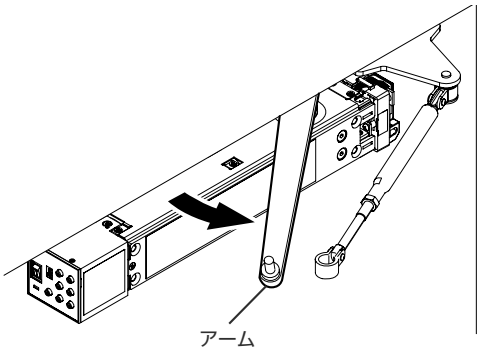
⊘ **①本体を取り付ける際、電動ドリルまたはインパクトドライバーは使用しないでください。**



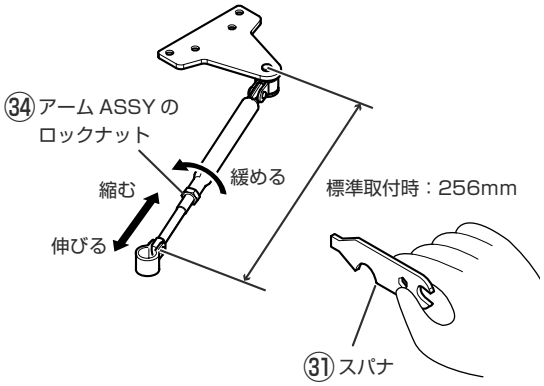
❗ **左右開きと①本体の向きが一致していることを確認してください。**

❗ **緩み防止のため、すべてのネジを締め付けた後もう一度すべてのネジを締め付け確認してください。**

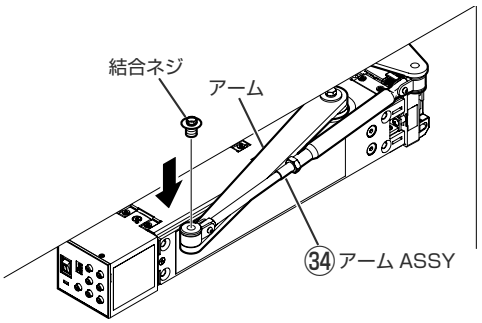
❗ **①本体を支えた状態で、4本のネジで最後までしっかりと固定してください。**



10. アームを手前に引き出します。



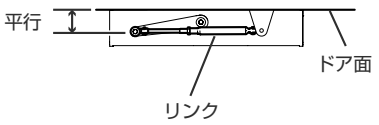
11. ㉞アームASSYのロックナットを㉛スパナで緩め、長さを調整します。

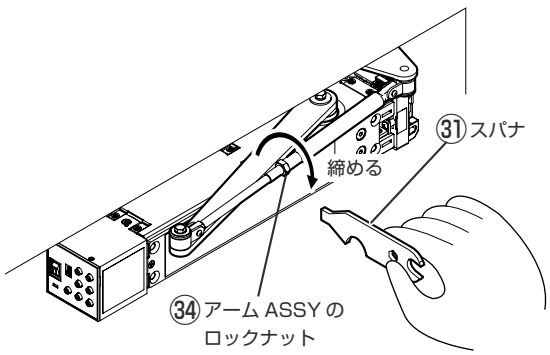


12. アームと㉞アームASSYを結合ネジで取り付けます。

⚠注 意

ⓘ **ドア面とリンクが平行になるようにリンクの長さを調整してください。**
（標準取付時は256mmに調整してください）





13. ㉞アームASSYのロックナットを㉛スパナで締め付けます。

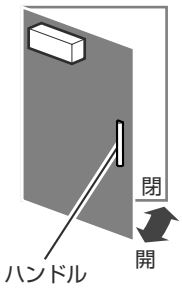
以上で①本体の取付作業は完了です。
④カバーの取付方法については、P.67 の「6−2.仕上げ」を参照してください。

3.スタンダードタイプの取付方法

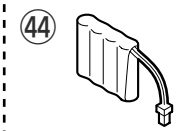
3−1. 構成品一覧

- 取り付ける前に、お手元の製品の構成品を確認してください。
- ①本体の向きに注意して取り付けてください。

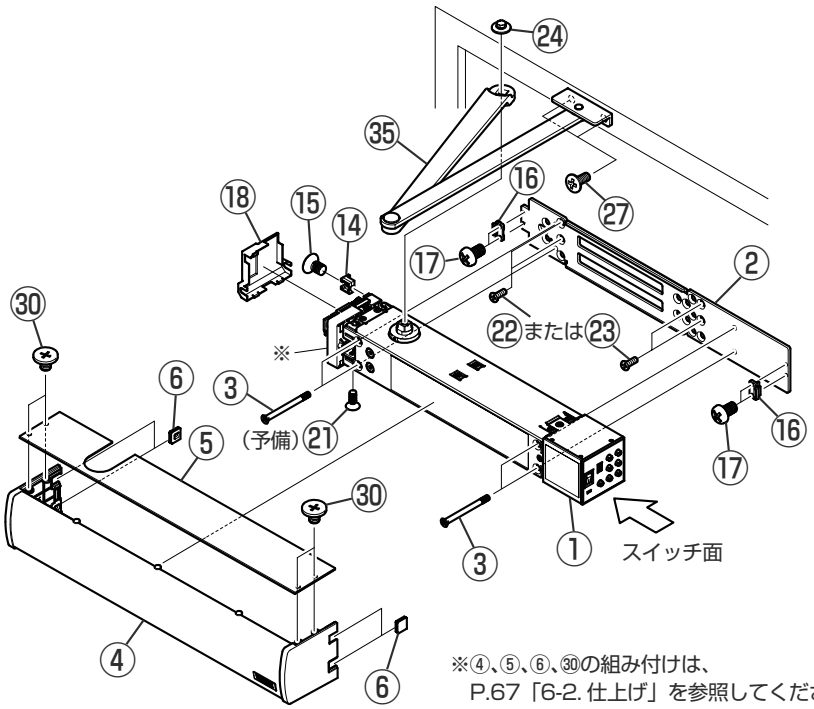
右開き(R)



※ 電池パック付き

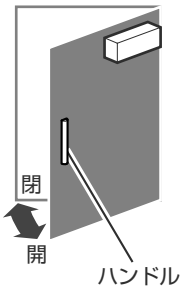


基板ブラケットを開けて
組み付けてください。
P.23 参照

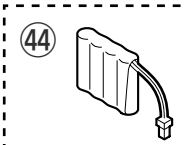


※④、⑤、⑥、㉚の組み付けは、
P.67「6-2. 仕上げ」を参照してください。

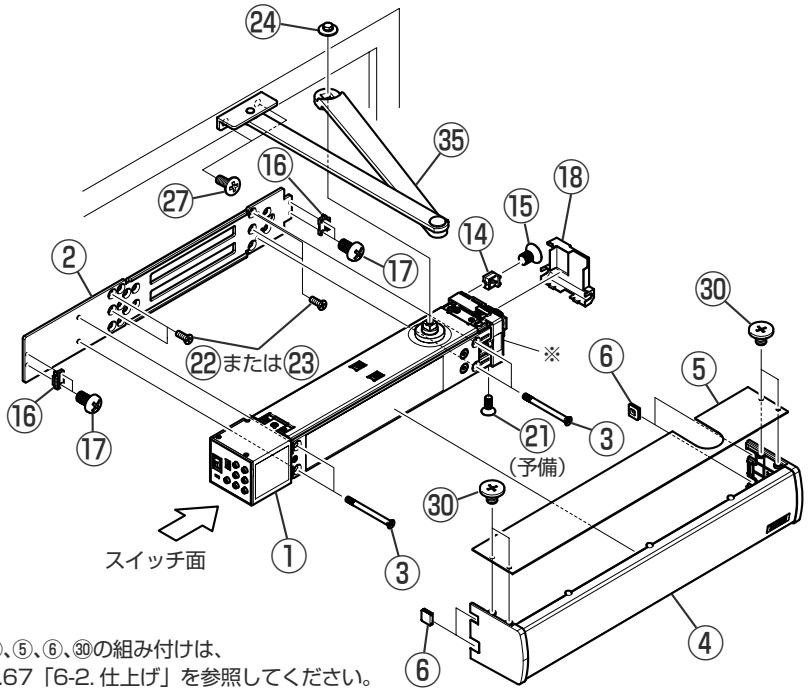
左開き(L)



※ 電池パック付き



基板ブラケットを開けて
組み付けてください。
P.23 参照

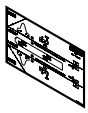


※④、⑤、⑥、㉚の組み付けは、
P.67「6-2. 仕上げ」を参照してください。

3−2. 取付穴の加工方法

- スタンダードタイプはドアの外側に本製品を取り付けます。
- ①本体の取り付けに使用する㊵型紙はアームのタイプによって使用方法が異なります。作業の前にお手元のアームのタイプを十分確認してください。(本製品に同梱されている型紙は一種類です)

■ 使用するもの


㊵ 型紙

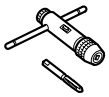
テープ

ポンチ

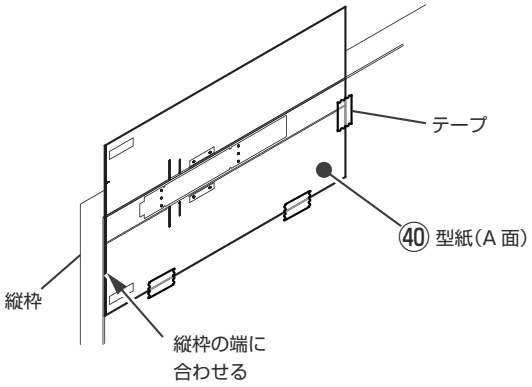
ハンマー

電動ドリル

ドリルビット
(Φ4.2)


タップ
(M5×0.8)

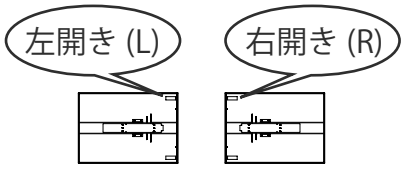
■ 作業手順

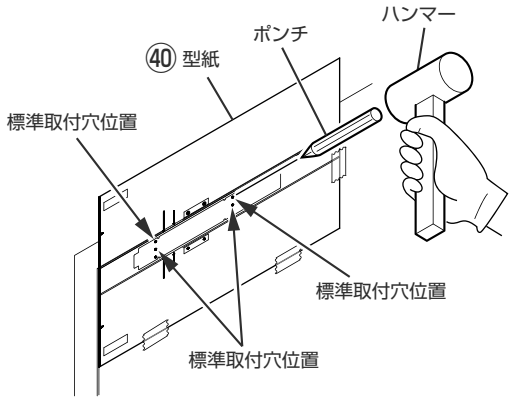


1. ㊵型紙のA面を縦枠に合わせ、テープで固定します。

⚠ 注 意

㊵型紙の右開き (R) 用と左開き (L) 用が実際のドアの開き方向と合っているか確認してください。(上下反転)



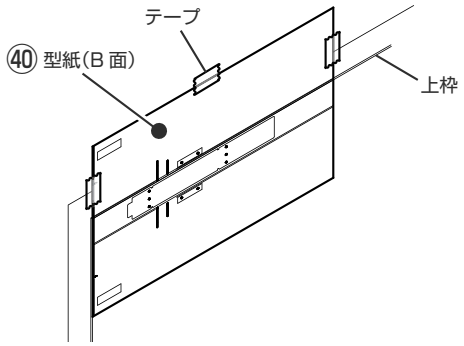


2. ㊵型紙のマークに合わせてポンチと ハンマーなどで印をつけます。(4箇所)

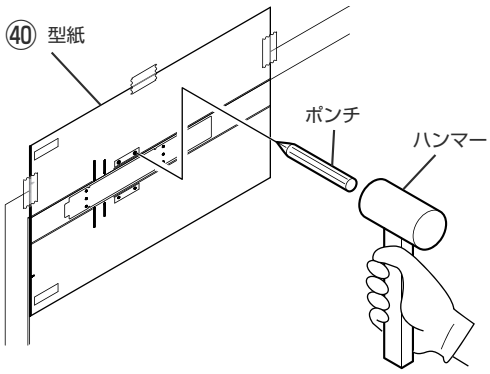
⚠ 注 意

取付穴位置には「標準取付穴」を使用してください。

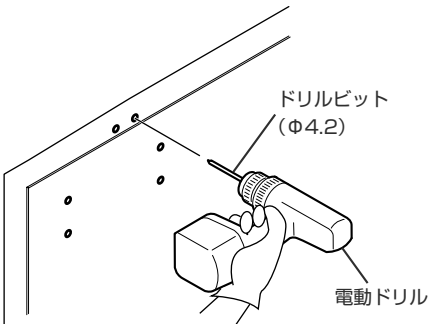
㊵型紙の内容をよく確認の上、作業を行ってください。



3. ㊵型紙のＢ面を上枠の正面に合わせ、テープで固定します。



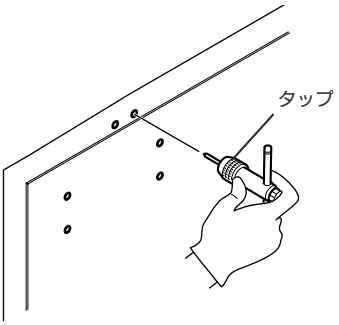
4. ㊵型紙のマークに合わせてポンチとハンマーなどで印をつけます。(２箇所)



5. ㊵型紙をはがし、Φ4.2のドリルビットを装着した電動ドリルで、印をつけた箇所に下穴をあけます。

⚠ 注 意

穴あけ加工時、切り粉が目に入らないように注意してください。

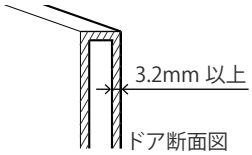


6. 下穴にタップ加工を行います。(6箇所)

⚠ 注 意

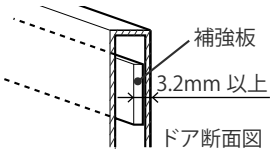
タップ加工時、切り粉が目に入らないように注意してください。

タップ加工はドアまたは上枠の板厚が3.2mm以上でなければ加工しないでください。



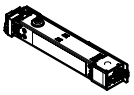
アドバイス

ドアまたは上枠内部に補強板があり、ドア表面材を含めて厚さ 3.2mm 以上である場合はタップ加工が可能です。



3−3. 本体の取付方法

■ 使用するもの



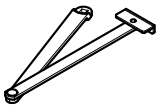
① ② ③ 本体一式

⑭ ⑮ カールコード受け一式
（露出配線の場合のみ使用します）

⑯ ⑰ カバーロック一式

㉒ ㉓ ㉔ ㉗ ネジ一式

㉛ スパナ



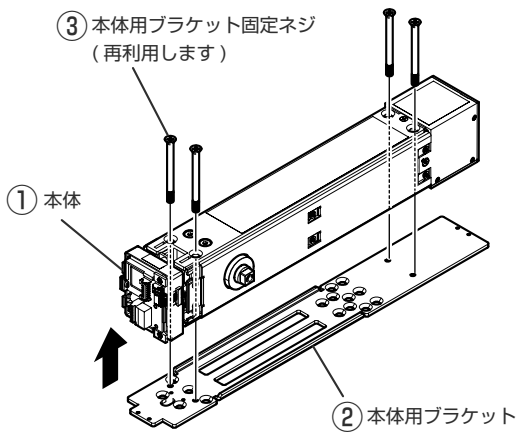
㉟ アームASSY

プラスドライバー

■ 作業手順

「電池パックセット付き」の場合は、P.23 の「1−3−5.本体に電池パックを組み付ける」を参照して㊹電池パックを先に組み付けてください。「電池パックセットなし」の場合は、以下の手順に従い、①本体をドアに取り付けてください。

● 電池パックセットなしの場合



1. ③本体用ブラケット固定ネジ(4本)を外し、①本体から②本体用ブラケットを取り外します。

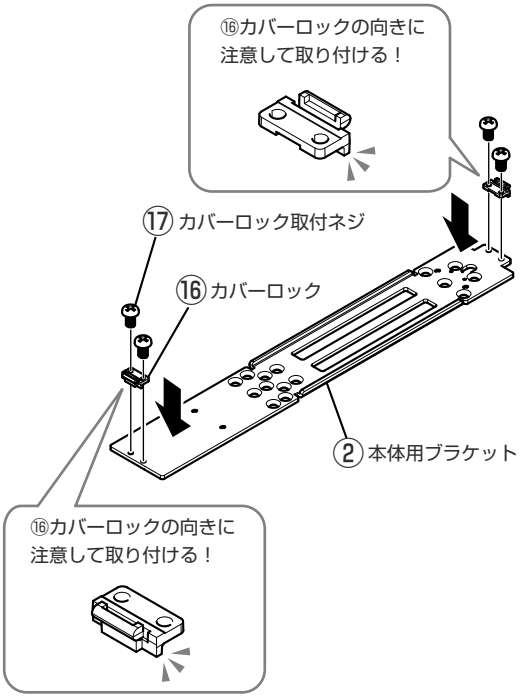
⚠ 注 意

①本体と②本体用ブラケットを傷付けないように注意して作業を行ってください。

アドバイス

外した③本体用ブラケット固定ネジは、手順7.で再利用します。手の届くところに保管してください。

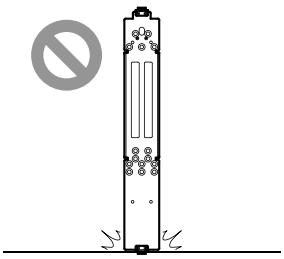
● **共通**

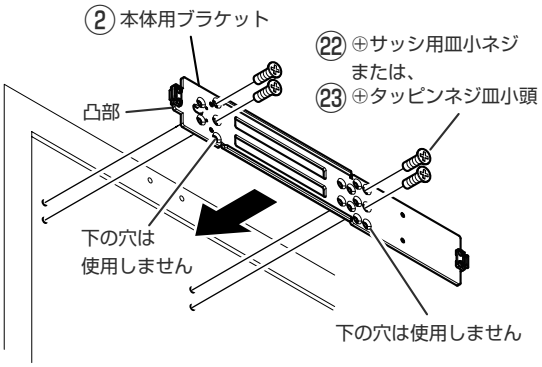


2. ②本体用ブラケットの両端に、⑯カバーロック(2個)を⑰カバーロック取付ネジ(4本)で取り付けます。

⚠ 注 意

- **⑯カバーロックは向きに注意して取り付けてください。**
- **⑯カバーロックを取り付けた後、②本体用ブラケットの両端を地面につけないでください。⑯カバーロックが破損し、④カバーの取り付けが出来なくなる可能性があります。**

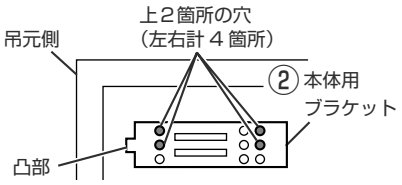


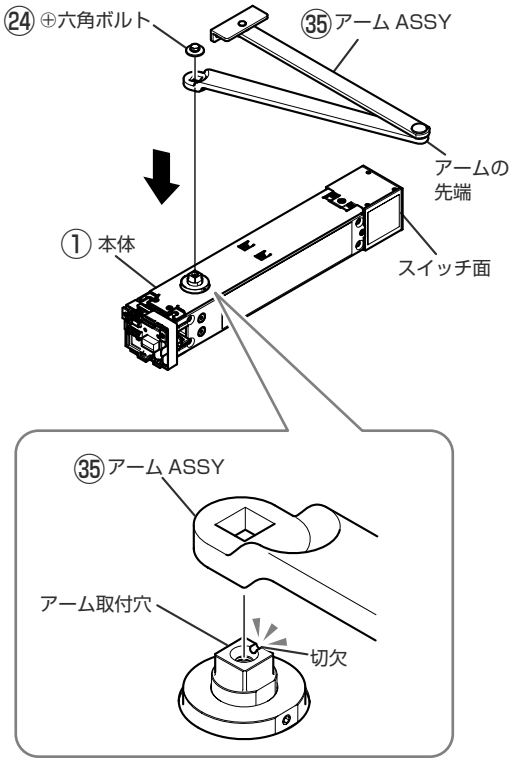


3. ②本体用ブラケットを㉒⊕サッシ用皿小ネジ(4本)または、㉓⊕タッピンネジ皿小頭(4本)でドアに取り付けます。

⚠ 注 意

- **開いている取付穴に合うピッチで取り付けを行ってください。**
- **②本体用ブラケットの凸部が吊元側になるようセットしてください。**
- **②本体用ブラケットの上の穴2箇所(左右計4箇所)を使用して固定してください。**

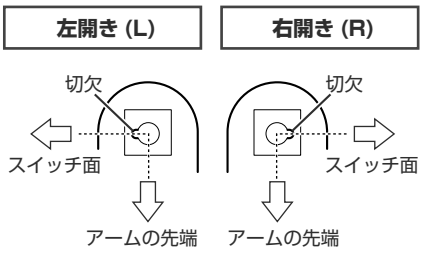




4. ①本体に㉟アームASSYを㉔⊕六角ボルトで取り付けます。

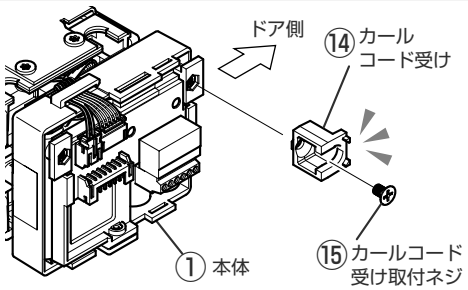
⚠ 注 意

- ①本体のアーム取付穴には切欠があります。切欠をスイッチ面に向け、切欠に対してアームの先端が垂直に向くようにアームを取り付けてください。(アームとリンクの接合部はドアの反対側にくるようにしてください)

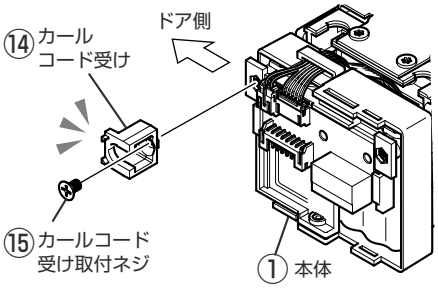


● 露出配線の場合

左開き(L)



右開き(R)

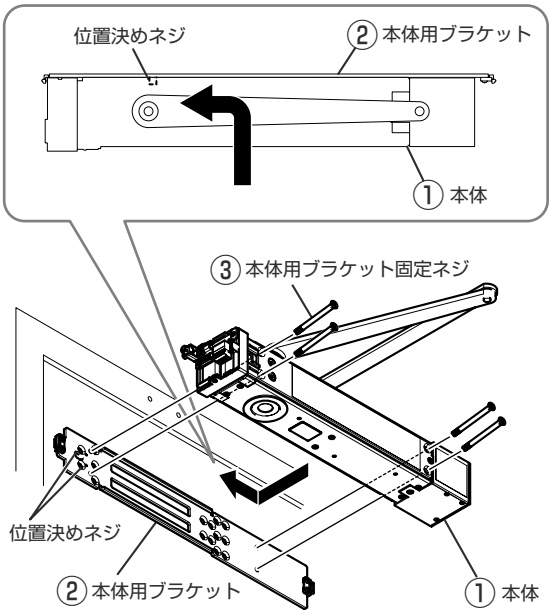


5. ⑭カールコード受けを①本体に⑮カールコード受け取付ネジで取り付けます。

⚠ 注 意

- ⑭カールコード受けは、ドア側に取り付けてください。
- ⑭カールコード受けは、向きに注意して取り付けてください。

● 共通

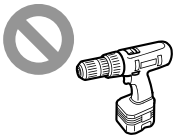


6. ②本体用ブラケットに①本体を突き当て、吊元側にスライドさせます。

7. 位置決めネジに当たり止まった所で③本体用ブラケット固定ネジ(4本)で取り付けます。

⚠ 注 意

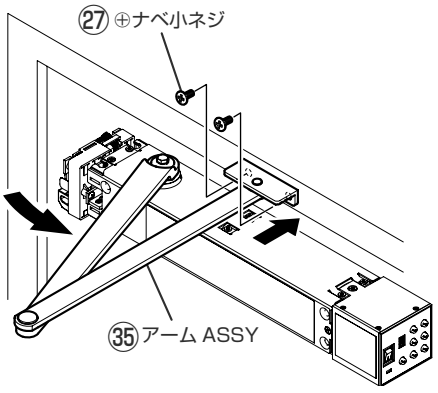
⊘ **①本体を取り付ける際、電動ドリルまたはインパクトドライバーは使用しないでください。**



❗ **左右開きと①本体の向きが一致していることを確認してください。**

❗ **緩み防止のため、すべてのネジを締め付けた後もう一度すべてのネジを締め付け確認してください。**

❗ **①本体を支えた状態で、4本のネジで最後までしっかりと固定してください。**

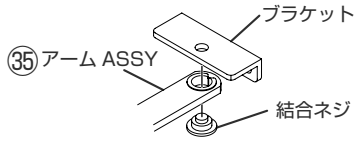


8. ㉟アームASSYをドアが開く方向に回します。

9. ㉟アームASSYを上枠の正面に㉗⊕ナベ小ネジ(2本)で取り付けます。

アドバイス

作業がしづらい場合は、㉟アーム ASSY のリンクの結合ネジを取り外すと作業が容易になります。



※ 結合ネジを取り外した場合は、㉟アームASSYを取り付けた後、しっかりと締め付けてください。

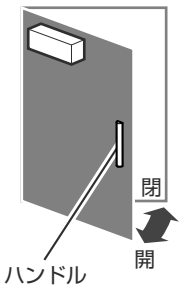
以上で①本体の取付作業は完了です。
④カバーの取付方法については、P.67 の「6−2.仕上げ」を参照してください。

4.トラックレールタイプの取付方法

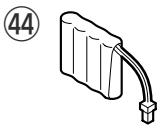
4−1. 構成品一覧

• 取り付ける前に、お手元の製品の構成品を確認してください。 ・①本体の向きに注意して取り付けてください。

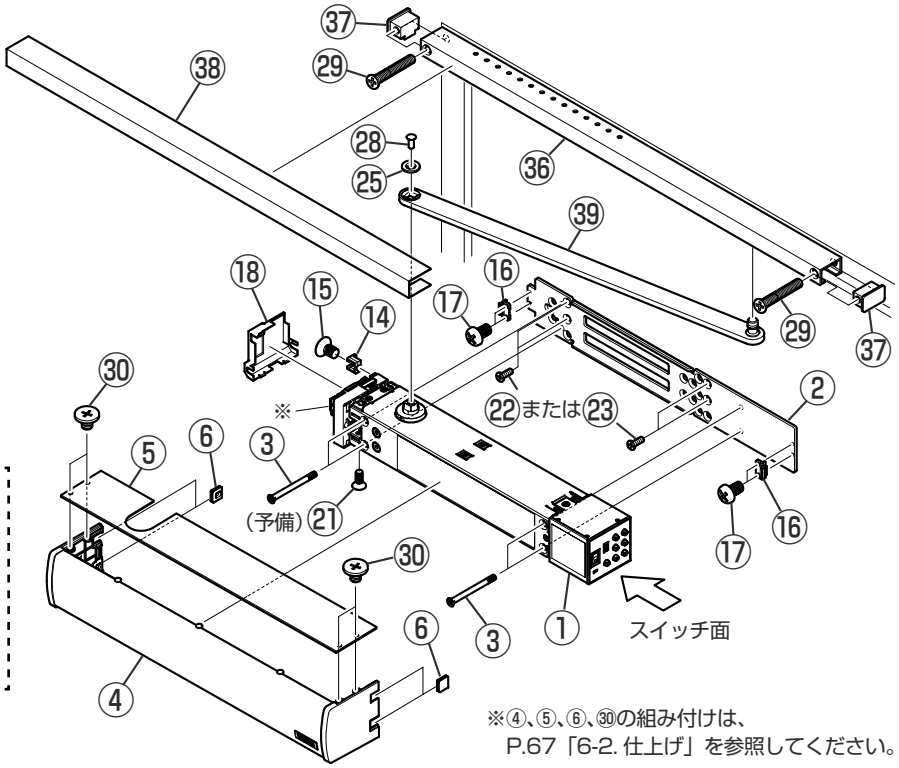
右開き(R)



※ 電池パック付き

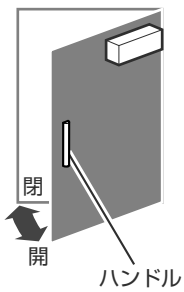


基板ブラケットを開けて
組み付けてください。
P.23 参照



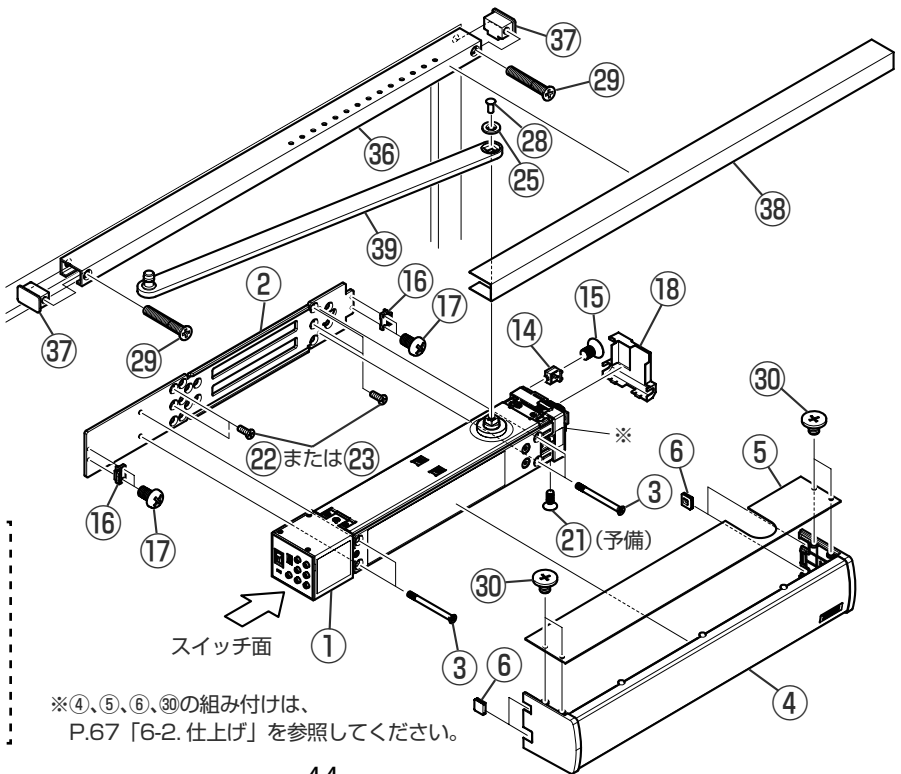
※④、⑤、⑥、㉚の組み付けは、
P.67「6-2. 仕上げ」を参照してください。

左開き(L)



※ 電池パック付き

基板ブラケットを開けて
組み付けてください。
P.23 参照

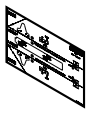


※④、⑤、⑥、㉚の組み付けは、
P.67「6-2. 仕上げ」を参照してください。

4−2. 取付穴の加工方法

- トラックレールタイプはドアの外側に本製品を取り付けます。
- ①本体の取り付けに使用する㊵型紙はアームのタイプによって使用方法が異なります。作業の前にお手元のアームのタイプを十分確認してください。(本製品に同梱されている型紙は一種類です)

■ 使用するもの



㊵ 型紙

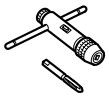
テープ

ポンチ

ハンマー

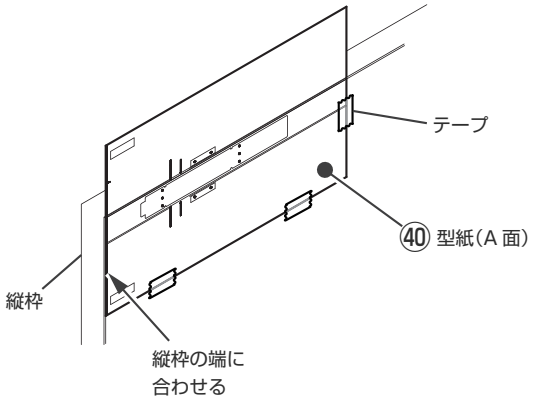
電動ドリル

ドリルビット
(Φ4.2)



タップ
(M5×0.8)

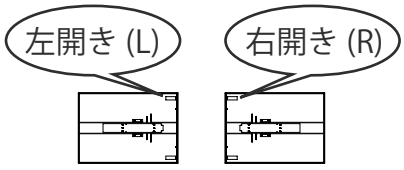
■ 作業手順

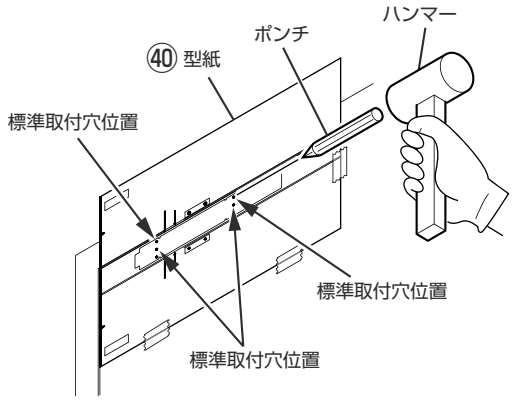


1. ㊵型紙のA面を縦枠に合わせ、テープで固定します。

⚠ 注 意

㊵型紙の右開き (R) 用と左開き (L) 用が実際のドアの開き方向と合っているか確認してください。(上下反転)



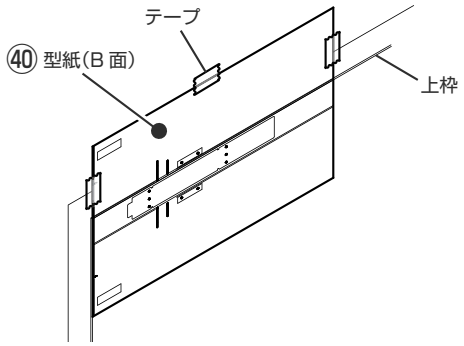


2. ㊵型紙のマークに合わせてポンチとハンマーなどで印をつけます。(4箇所)

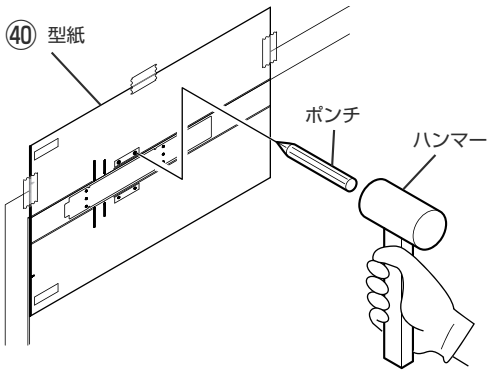
⚠ 注 意

取付穴位置には「標準取付穴」を使用してください。

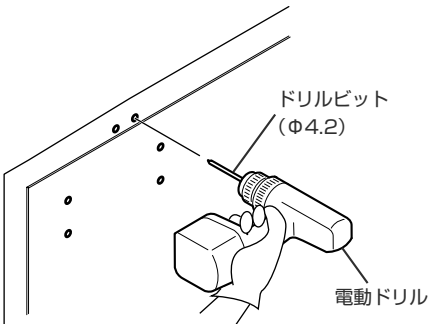
㊵型紙の内容をよく確認の上、作業を行ってください。



3. ㊵型紙のＢ面を上枠の正面に合わせ、テープで固定します。



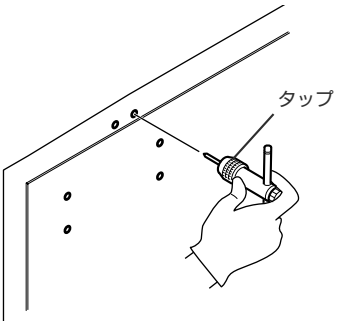
4. ㊵型紙のマークに合わせてポンチとハンマーなどで印をつけます。(２箇所)



5. ㊵型紙をはがし、Φ４.２のドリルビットを装着した電動ドリルで、印をつけた箇所に下穴をあけます。

⚠ 注 意

穴あけ加工時、切り粉が目に入らないように注意してください。

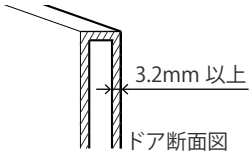


6. 下穴にタップ加工を行います。(6箇所)

⚠ 注 意

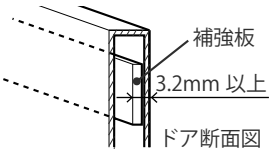
タップ加工時、切り粉が目に入らないように注意してください。

タップ加工はドアまたは上枠の板厚が3.2mm以上でなければ加工しないでください。



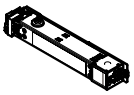
アドバイス

ドアまたは上枠内部に補強板があり、ドア表面材を含めて厚さ 3.2mm 以上である場合はタップ加工が可能です。



4−3. 本体の取付方法

■ 使用するもの



① ② ③ 本体一式

⑭ ⑮ カールコード受け一式
（露出配線の場合のみ使用します）

⑯ ⑰ カバーロック一式

㉒ ㉓ ㉕ ㉘ ㉙ ネジ一式

㉜ 六角棒スパナ

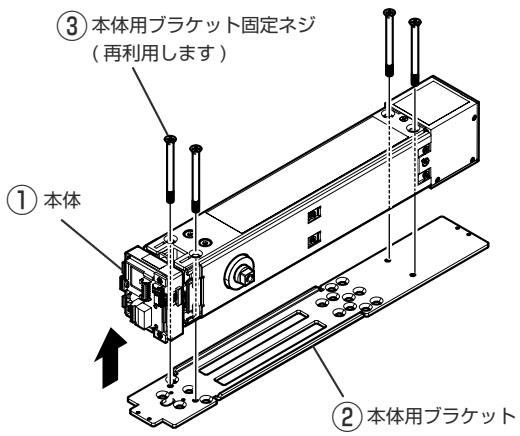
㊱ ㊲ ㊳ ㊴ レール一式

プラスドライバー

■ 作業手順

「電池パックセット付き」の場合は、P.23 の「1−3−5.本体に電池パックを組み付ける」を参照して㊹電池パックを先に組み付けてください。「電池パックセットなし」の場合は、以下の手順に従い、①本体をドアに取り付けてください。

● 電池パックセットなしの場合



1. ③本体用ブラケット固定ネジ(4本)を外し、①本体から②本体用ブラケットを取り外します。

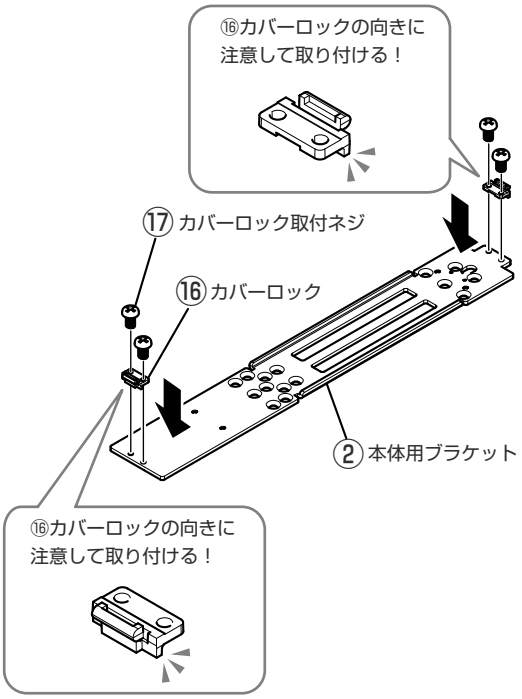
⚠注 意

①本体と②本体用ブラケットを傷付けないように注意して作業を行ってください。

アドバイス

外した③本体用ブラケット固定ネジは、手順7.で再利用します。手の届くところに保管してください。

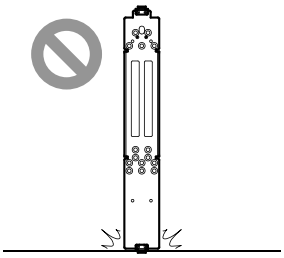
● **共通**

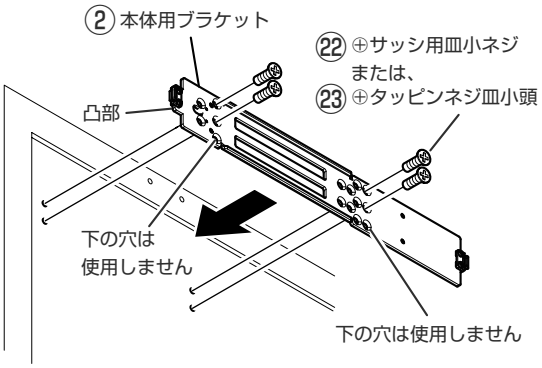


2. ②本体用ブラケットの両端に、⑯カバーロック２つを⑰カバーロック取付ネジ(４本)で取り付けます。

⚠ 注 意

- **⑯カバーロックは向きに注意して取り付けてください。**
- **⑯カバーロックを取り付けた後、②本体用ブラケットの両端を地面につけないでください。⑯カバーロックが破損し、④カバーの取り付けが出来なくなる可能性があります。**

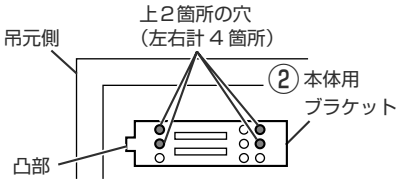


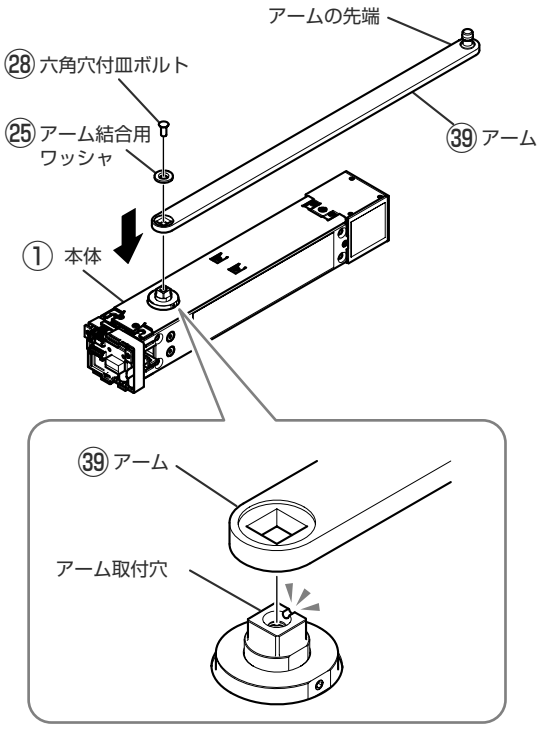


3. ②本体用ブラケットを㉒⊕サッシ用皿小ネジ(4本)または、㉓⊕タッピンネジ皿小頭(4本)でドアに取り付けます。

⚠ 注 意

- **開いている取付穴に合うピッチで取り付けを行ってください。**
- **②本体用ブラケットの凸部が吊元側になるようセットしてください。**
- **②本体用ブラケットの上の穴2箇所(左右計4箇所)を使用して固定してください。**

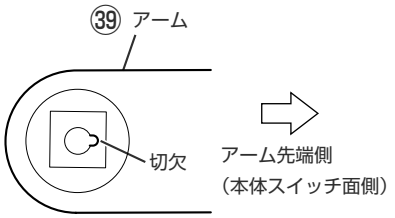




4. ①本体に㊴アームを㉘六角穴付皿ボルトと㉕アーム結合用ワッシャで取り付ける。

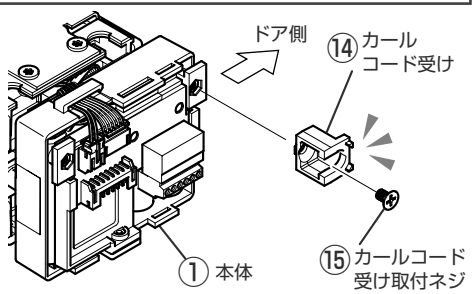
⚠ 注 意

①本体のアーム取付穴には切欠があります。切欠の方向と㊴アームの先端が合うように取り付けてください。

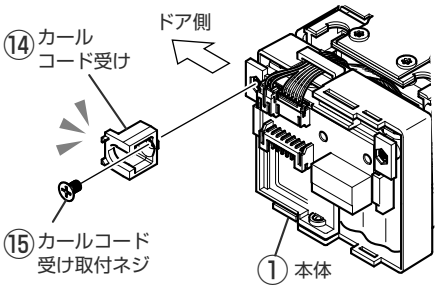


● 露出配線の場合

左開き(L)



右開き(R)



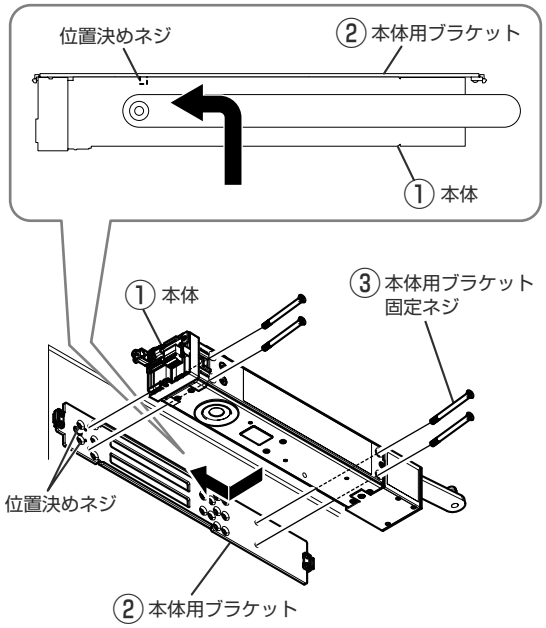
5. ⑭カールコード受けを①本体に⑮カールコード受け取付ネジで取り付けます。

⚠ 注 意

⑭カールコード受けは、ドア側に取り付けてください。

⑭カールコード受けは、向きに注意して取り付けてください。

● **共通**

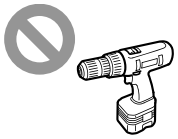


6. ②本体用ブラケットに①本体を突き当て、吊元側にスライドさせます。

7. 位置決めネジに当たり止まった所で③本体用ブラケット固定ネジ(4本)で取り付けます。

⚠ 注 意

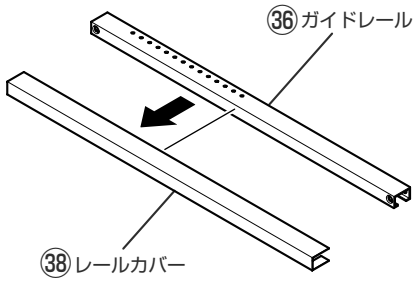
⃠ **①本体を取り付ける際、電動ドリルまたはインパクトドライバーは使用しないでください。**



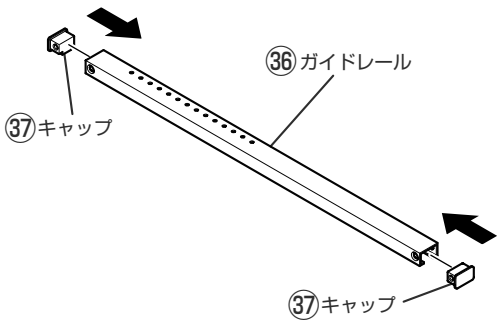
❗ **左右開きと①本体の向きが一致していることを確認してください。**

❗ **緩み防止のため、すべてのネジを締め付けた後もう一度すべてのネジを締め付け確認してください。**

❗ **①本体を支えた状態で、4本のネジで最後までしっかりと固定してください。**



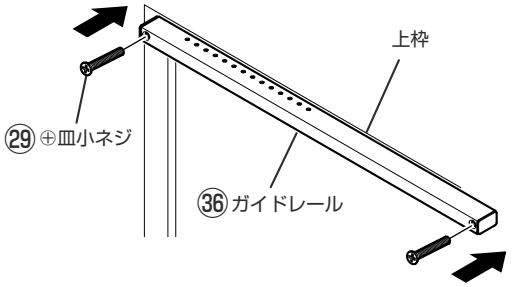
8. ㊱ガイドレールから㊳レールカバーを取り外します。



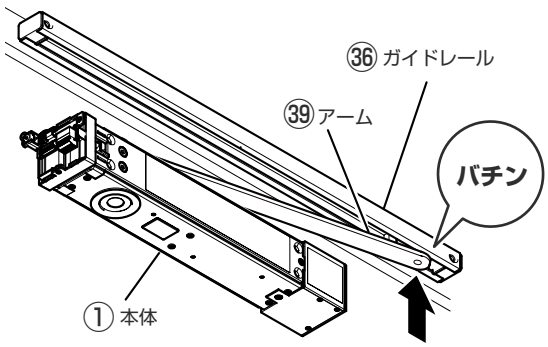
9. ㊱ガイドレールの両端に㊲キャップを入れます。

⚠ 注 意

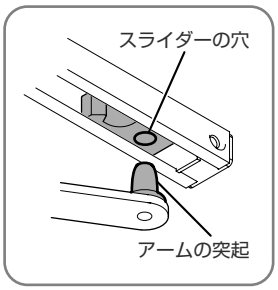
❗ **先に㊱ガイドレールを取り付けると㊲キャップは取り付けできません。**



10. ㊱ガイドレールを上枠の正面に㉙⊕皿小ネジ(2本)で取り付けます。



アームを少し下げ、
アームの突起とスライダーの穴を
合わせます。



11. ㊱ガイドレールと㊴アームを結合します。

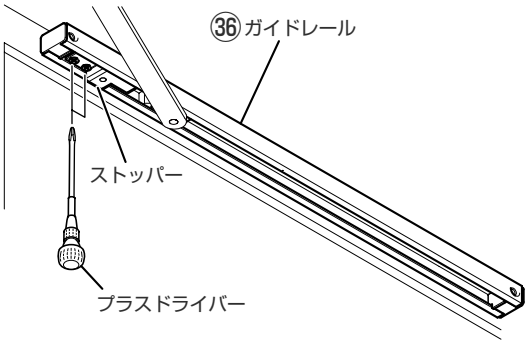
⚠ 注 意

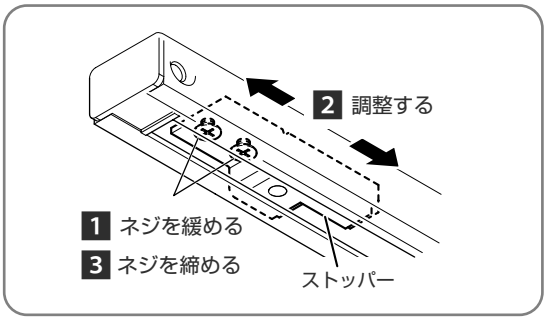
⊘ **㊱ガイドレールと㊴アームを結合する際、ハンマーなどを使用しないでください。**
㊴アームは必ず手で押し込んでください。

❗ **①本体が落下しないよう注意してください。**

アドバイス

㊱ガイドレールから㊴アームを取り外す場合は、①本体を手で支えながら、反動に注意し、㊴アームを下に引き抜いてください。





12. プラスドライバーを使用し、㊱ガイドレールのストッパーの位置を調整します。

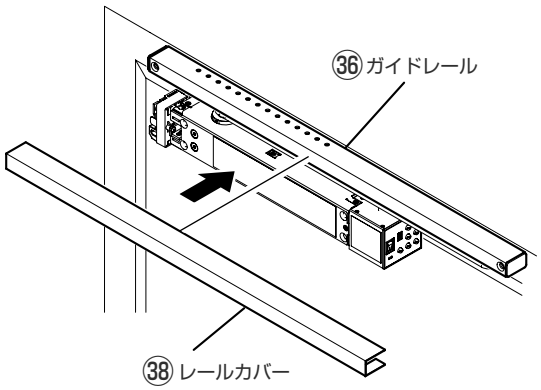
⚠ 注 意

ⓘ ストッパーは、ドアが開ききって停止するスライダーの位置より外側に取り付けてください。

アドバイス

- 枠に手が当たって作業がしづらい場合は、ドアを開けると作業が容易になります。

- ストッパーの調整は、左図の**1**～**3**の手順に従って調整してください。
- ストッパーが必要ない場合は、㊱ガイドレールの最端に固定してご使用ください。



13. ㊱ガイドレールに㊳レールカバーを取り付けます。

⚠ 注 意

ⓘ ㊳レールカバーは、㊱ガイドレールに対して垂直に押し込んでください。

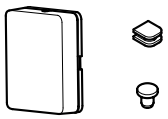
以上で①本体の取付作業は完了です。
④カバーの取付方法については、P.67 の「6−2. 仕上げ」を参照してください。

5. 配線

5−1. 扉枠内配線の場合

- 以下の手順は、扉枠内配線を行う場合を表しています。露出配線を行う場合はP.59 の「5−2. 露出配線の場合」へお進みください。
- 扉枠内配線は施工業者にご依頼ください。電気工事終了後、以下の作業を行ってください。

■ 使用するもの



⑦ ⑧ ⑨ 電源BOX一式
（ブッシングは電源BOXの中に入っています）

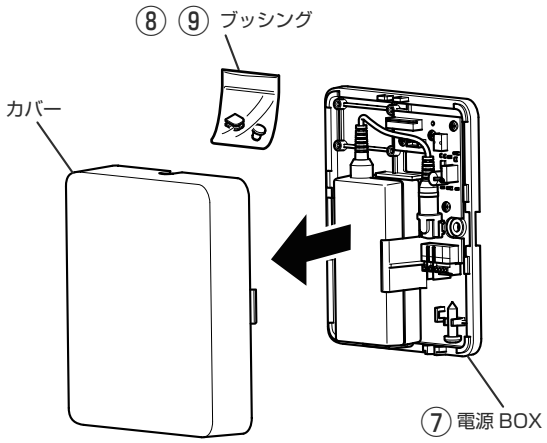
⑩ 電源コード
（コード長：1.0m）

⑪ ⑫ 扉枠内配線セット

■ 作業手順

⚠ 注 意

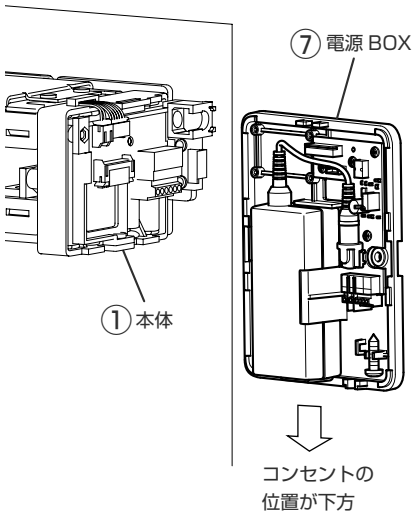
作業を行う前に、①本体の電源スイッチが「OFF」になっていることを確認してください。



1. ⑦電源BOXからカバーを取り外します。

⚠ 注 意

⑦電源BOXの中には、⑧、⑨ブッシングが入っています。なくさないように注意してください。

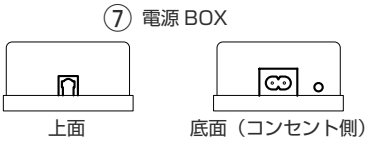


※ 図はコンセントが下方にある場合を表しています。
⑦電源BOXは上下左右どの向きでも取付可能です。

2. 枠から出ている⑫配線コードの位置に合わせて、⑦電源BOXを設置します。

⚠ 注 意

コンセントの位置に合わせて⑦電源BOXの向きを変更してください。

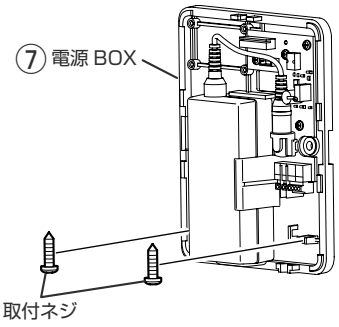


任意の場所に⑦電源BOXを設置してください。付属の⑪、⑫配線コードは、扉側 1.5m、枠側3.0mです。

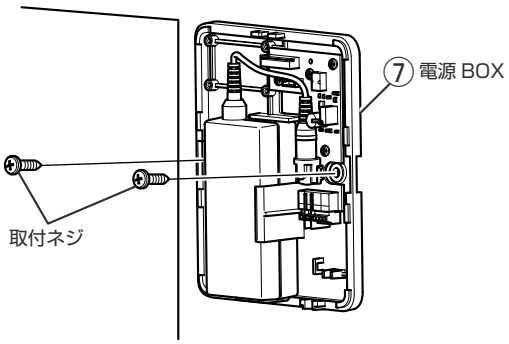
配線を延長する場合は、AWG22以上のコードを使用し、扉・枠側合計で10m以下としてください。

※ 枠の素材によって⑦電源BOXの設置方法が異なります。次のページの手順をご覧ください。

● 枠が木製の場合



3. ⑦電源BOX内部の取付ネジ(2本)を取り出します。



4. ⑦電源BOXを取付ネジ(2本)で固定します。

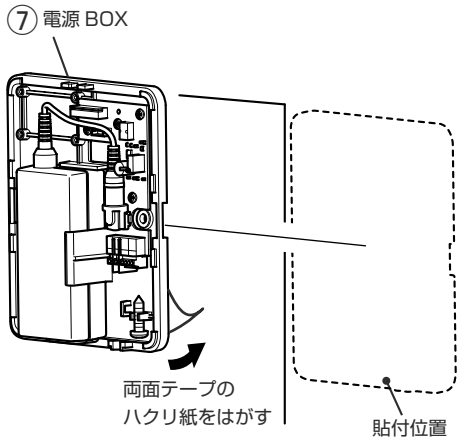
⚠ 注 意

取付ネジを取り付ける際、⑦電源BOX内のコードを傷つけないように注意してください。

アドバイス

手順 .3 で取り外した取付ネジで⑦電源 BOX を取り付けてください。

● 枠が木製以外の場合

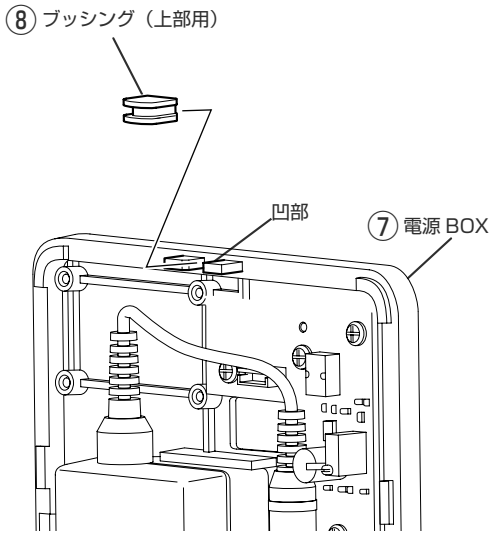


3. ⑦電源BOXを両面テープで枠に固定します。

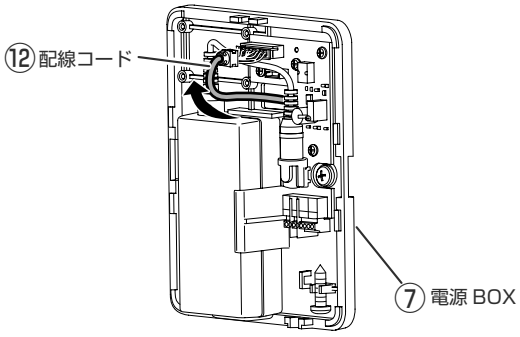
⚠ 注 意

⑦電源BOXは必ず水がかからない場所に取り付けてください。

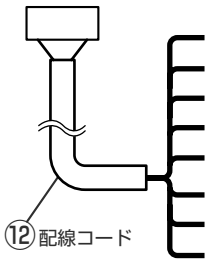
● 共通



5. ⑦電源BOX上部の凹部に⑧ブッシング（上部用）を取り付けます。

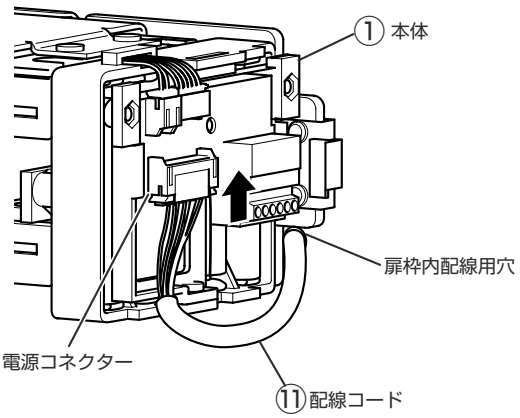


コネクター側

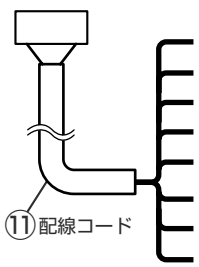


線色	機　能
黒	グランド
白	+12V
茶	POSITION（ドア位置出力）
赤	POSITION（ドア位置出力）
橙	STOP
黄	STOP
緑	OPEN
青	OPEN

※ 配線図はP.65 の「5−4.コネクターの配線例」を参照ください。
※ POS端子に入力する電圧の電流はDC24V・0.1A以下としてください。



コネクター側



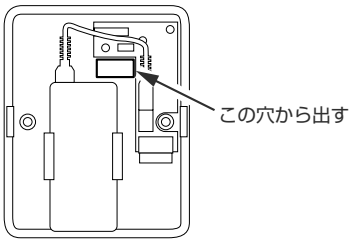
線色	機　能
黒	グランド
白	+12V
茶	POSITION（ドア位置出力）
赤	POSITION（ドア位置出力）
橙	STOP
黄	STOP
緑	OPEN
青	OPEN

※ 配線図はP.65 の「5−4.コネクターの配線例」を参照ください。
※ POS端子に入力する電圧の電流はDC24V・0.1A以下としてください。
※ コネクターの接続方向に注意してください。

6. 扉枠内配線用穴から出ている⑫配線コードのコネクターを⑦電源BOXのコネクターに接続します。

⚠ 注 意

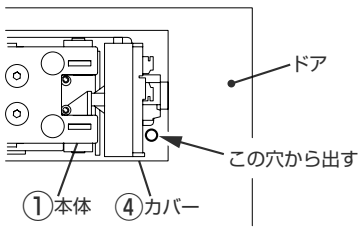
⑫配線コードは、⑦電源BOXの内側に開いている穴から出してください。



7. 扉枠内配線用穴から出ている⑪配線コードのコネクターを①本体の電源コネクターに接続します。

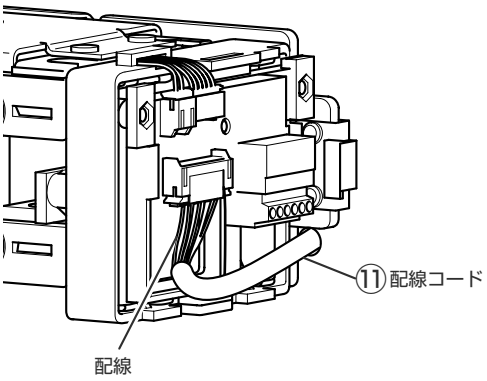
⚠ 注 意

⑪配線コードは、④カバーの内側に開いている穴から出してください。



アドバイス

竪枠に手が当たって作業がしづらい場合は、ドアを開けると作業が容易になります。

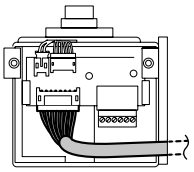


※ 社外品を取り付ける場合は、P.64 の「5−3. 社外品の取り付け」へお進みください。

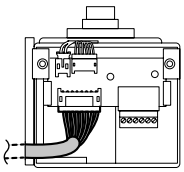
8. ⑪配線コードの配線の位置を調整します。

⚠ 注 意

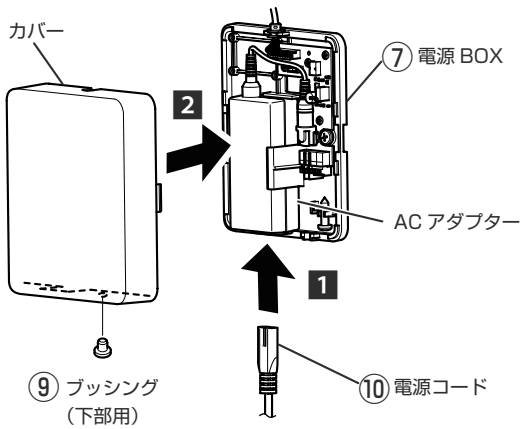
④カバーを取り付けたとき、配線がつぶされないように、コネクターなどと重ならない位置に調整してください。



パラレルタイプ右開き /
スタンダードタイプ・トラックレールタイプ
左開きの場合



パラレルタイプ左開き /
スタンダードタイプ・トラックレールタイプ
右開きの場合



9. ⑦電源BOX内のACアダプターと⑩電源コードを接続します。

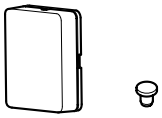
10. ⑩電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。

11. カバーに⑨ブッシング（下部用）を取り付け、⑦電源BOXにカバーを取り付けます。

5−2. 露出配線の場合

以下の手順は、露出配線を行う場合を表しています。扉枠内配線を行う場合はP.54 の「5− 1.扉枠内配線の場合」へお進みください。

■ 使用するもの



⑦ ⑨ 電源BOX一式
（ブッシングは電源BOXの中に入っています）

⑩ 電源コード
（コード長：3.0m）

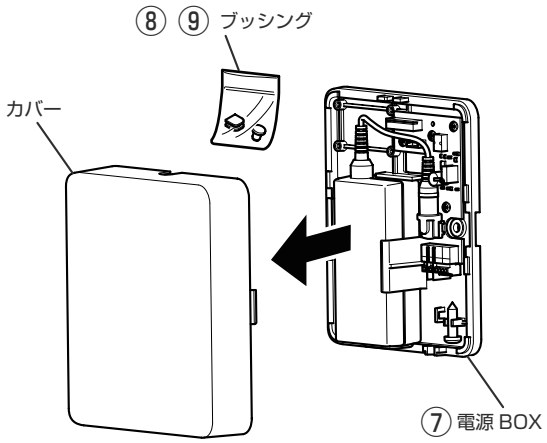
⑬ 配線コード

※ ⑧ブッシング（上部用）は使用しません。

■ 作業手順

⚠ 注 意

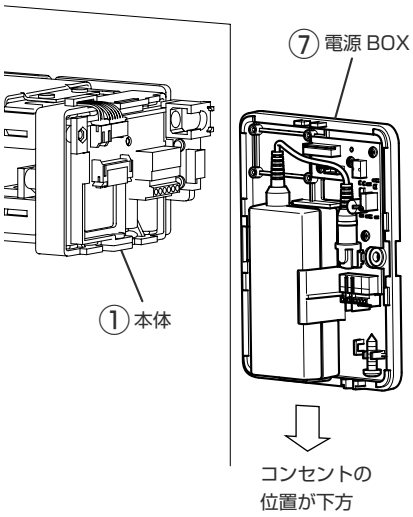
ⓘ 作業を行う前に、①本体の電源スイッチが「OFF」になっていることを確認してください。



1. ⑦電源BOXからカバーを取り外します。

⚠ 注 意

ⓘ ⑦電源BOXの中には、⑧、⑨ブッシングが入っています。なくさないように注意してください。

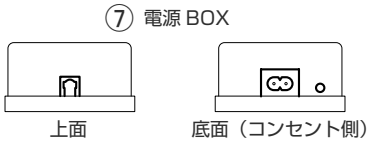


※ 図はコンセントが下方にある場合を表しています。
⑦電源BOXは上下左右どの向きでも取付可能です。

2. ⑦電源BOXを設置します。

⚠ 注 意

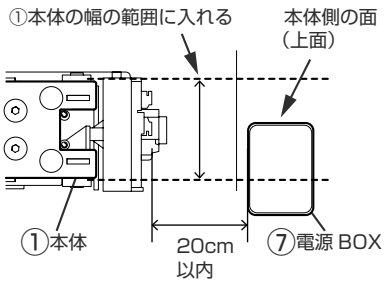
コンセントの位置に合わせて⑦電源BOXの向きを変更してください。



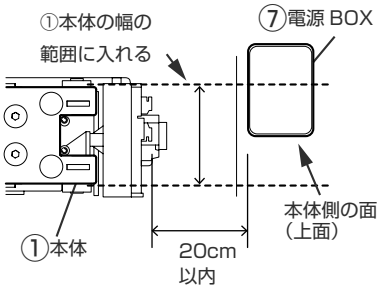
⑦電源BOXの本体側の面が、①本体の幅の範囲に入るように設置してください。

⑦電源BOXは、本体の端から20㎝以内に設置してください。

● コンセントが下方にある場合

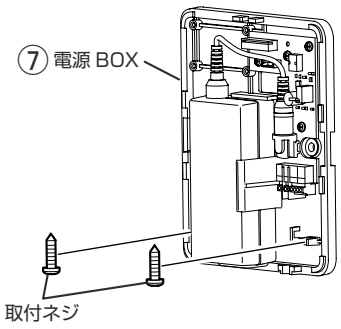


● コンセントが上方にある場合

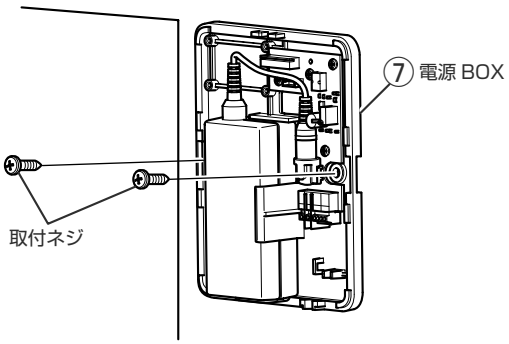


※ 枠の素材によって⑦電源BOXの設置方法が異なります。次のページの手順をご覧ください。

● 枠が木製の場合



3. ⑦電源BOX内部の取付ネジ(2本)を取り出します。



4. ⑦電源BOXを取付ネジ(2本)で枠に固定します。

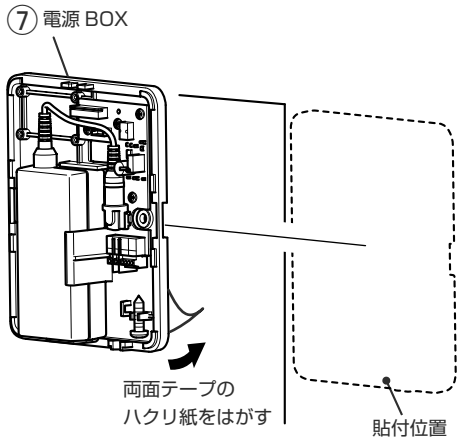
⚠ 注 意

取付ネジを取り付ける際、⑦電源BOX内の線を傷つけないように注意してください。

アドバイス

手順 .3 で取り外した取付ネジで⑦電源 BOX を取り付けてください。

● 枠が木製以外の場合

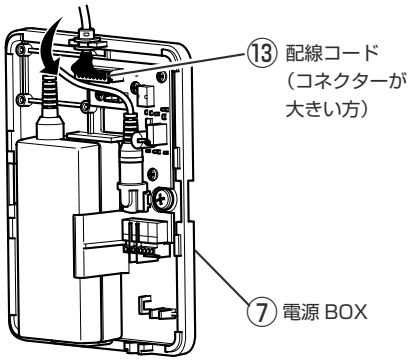


3. ⑦電源BOXを両面テープで固定します。

⚠ 注 意

⑦電源BOXは必ず水がかからない場所に取り付けてください。

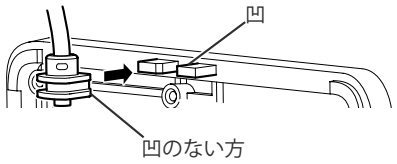
● 共通

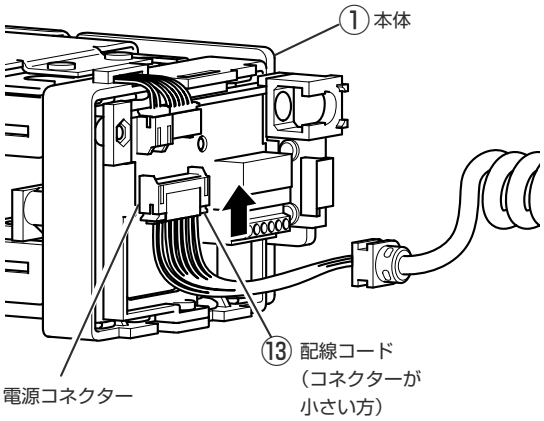


5. ⑦電源BOXに⑬配線コードのコネクターが大きい方を接続します。

⚠ 注 意

⑦電源BOX上部の凹に、⑬配線コードのコネクターの凹のない方を差し込んでください。

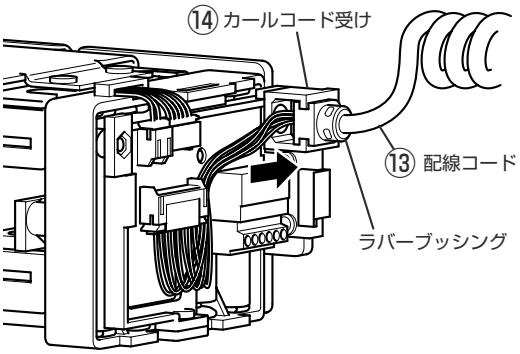




6. ⑬配線コードのコネクターが小さい方を①本体の電源コネクターに接続します。

アドバイス

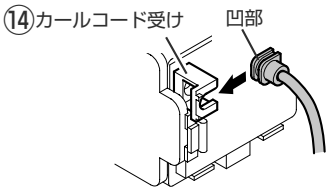
枠に手が当たって作業がしづらい場合は、ドアを開けると作業が容易になります。

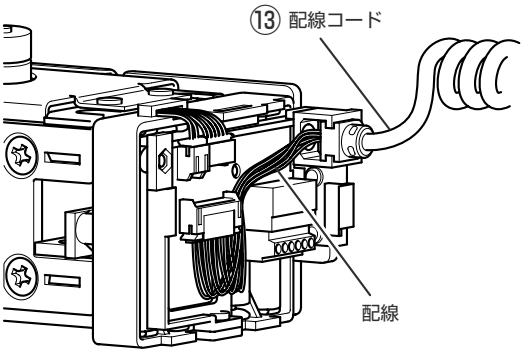


7. ⑭カールコード受けに⑬配線コードのラバーブッシングを取り付けます。

⚠ 注 意

凹部のある方が⑭カールコード受け側になるように、溝を合わせて差し込んでください。



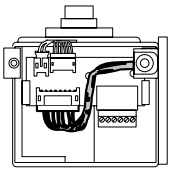


※ 社外品を取り付ける場合は、P.64 の「5−3. 社外品の取り付け」をご覧ください。

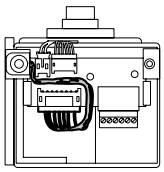
8. ⑬配線コードの配線の位置を調整します。

⚠ 注 意

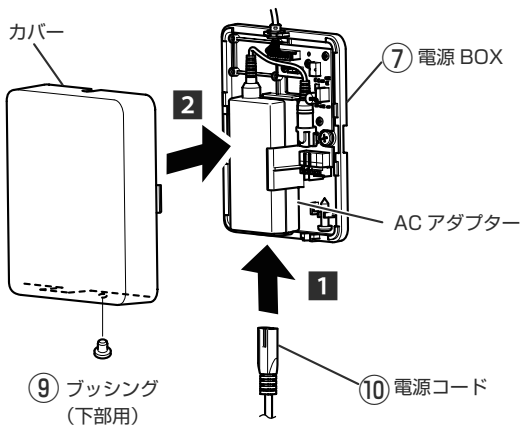
④カバーを取り付けたとき、配線がつぶされないように、コネクターなどと重ならない位置に調整してください。



パラレルタイプ右開き /
スタンダードタイプ・トラックレールタイプ
左開きの場合



パラレルタイプ左開き /
スタンダードタイプ・トラックレールタイプ
右開きの場合



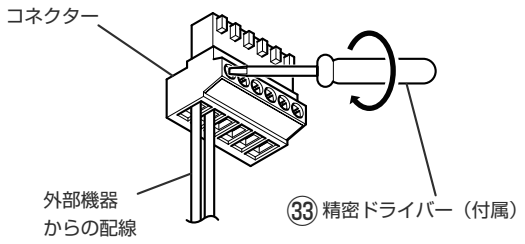
9. ⑦電源BOX内のACアダプターと⑩電源コードを接続します。

10. ⑩電源コードのプラグをコンセントに差し込みます。

11. カバーに⑨ブッシング（下部用）を取り付け、⑦電源BOXにカバーを取り付けます。

5−3. 社外品の取り付け

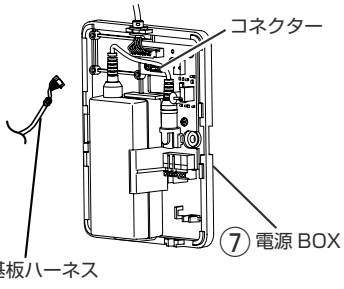
5−3−1. 無電圧接続



⑦電源BOX内または①本体のコネクターを配線します。

※ 配線例の確認はP.65 の「5−4. コネクターの配線例」をご参照ください。

5−3−2. 基板ハーネス追加



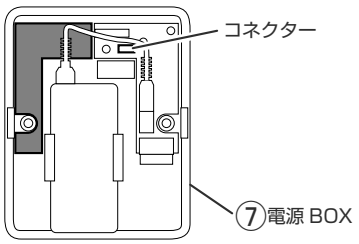
黒：追加基板用電源線（グランド）
赤：追加基板用電源線（+12V）
白：開信号線（無電圧）
黄：開信号線（無電圧）

※ 配線例の確認はP.65 の「5−4. コネクターの配線例」をご参照ください。

⑦電源BOX内のコネクターに⑲追加基板ハーネスで基板ハーネスを接続します。

アドバイス

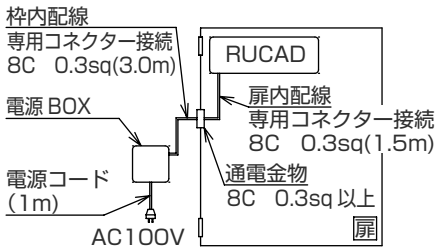
施工主様が手配した基板を追加する場合は、
部のスペースを使用してください。



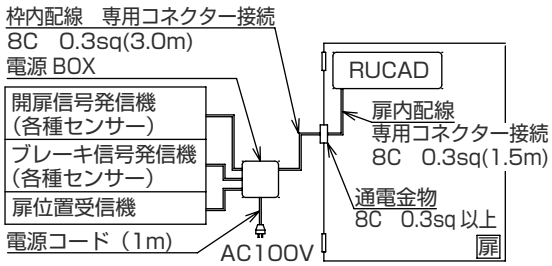
5−4. コネクターの配線例

扉枠内配線

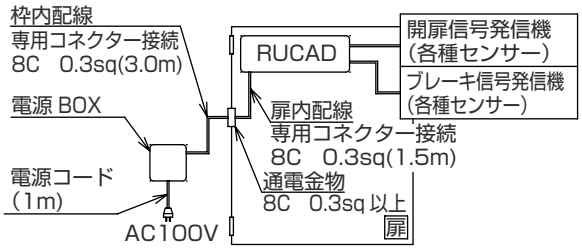
■ラクアド単体



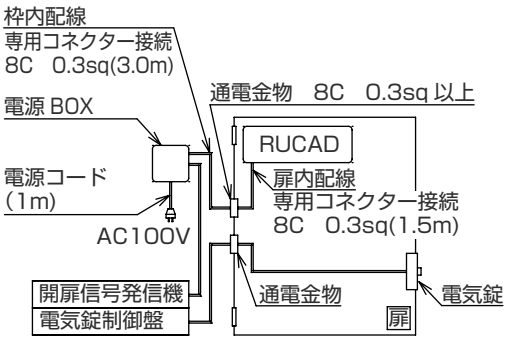
■枠側外部機器連動



■扉側外部機器連動



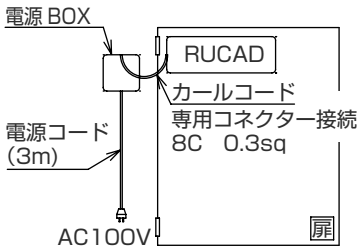
■扉側外部機器（電気錠）連動



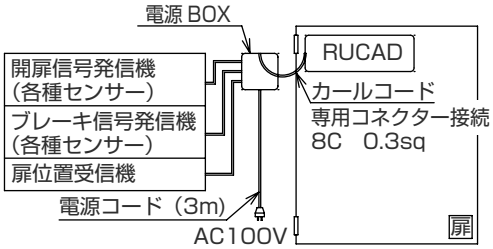
※電気錠はラッチボルトのないタイプを選定してください。

露出配線

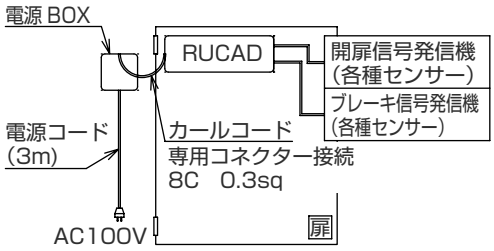
■ラクアド単体



■枠側外部機器連動



■扉側外部機器連動



※枠側外部機器と扉側外部機器を併用いただくことも可能です。

6.仕上げ

6−1. 切替スイッチの設定を確認する

- 本製品は、①本体の切替スイッチで左右開きなどを設定します。
- 取付時には、「1（開き方向）」と「2（全開保持）」を設定します。
- 切替スイッチは指で切り替えます。

アドバイス

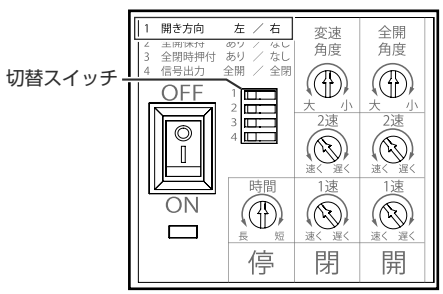
- 工場出荷時、「1（開き方向）」は左側（左開き（L））に設定されています。
- 指での切り替えが難しい場合は、付属の㉛スパナの先端の先端または㉝精密ドライバーの先端で切り替えてください。

㉛ スパナ（付属）

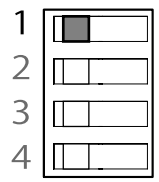
㉝ 精密ドライバー（付属）

■「1（開き方向）」の設定

〈スイッチ面〉

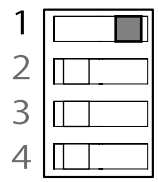


左開き(L)



「1（開き方向）」のスイッチが左側になっている

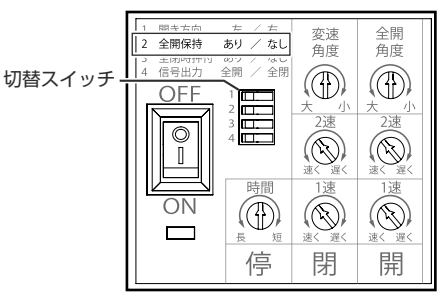
右開き(R)



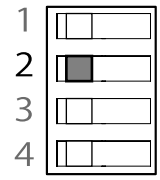
「1（開き方向）」のスイッチが右側になっている

■「2(全開保持)」の設定

〈スイッチ面〉



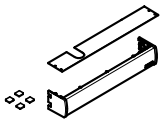
全タイプ共通



「2（全開保持）」のスイッチが左側になっている

6−2. 仕上げ

■ 使用するもの



④ ⑤ ⑥ カバー一式

⑱ 電池BOX用カバー

㉚ カバー組立ネジ

㊶ 自動ドア用
ステッカー

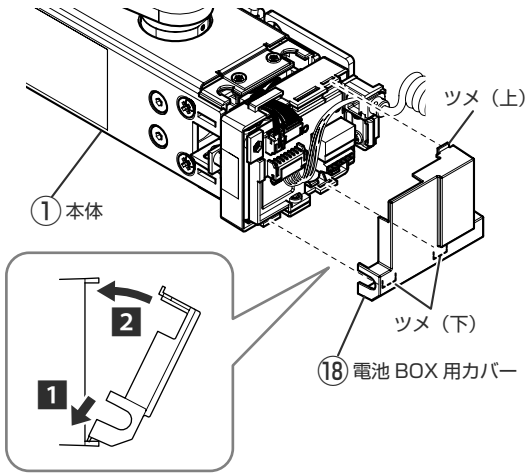
㊺ 電池パック交換時期
表示シール

（電池パックセット付きの場合
のみ使用します）

プラスドライバー

■ 作業手順

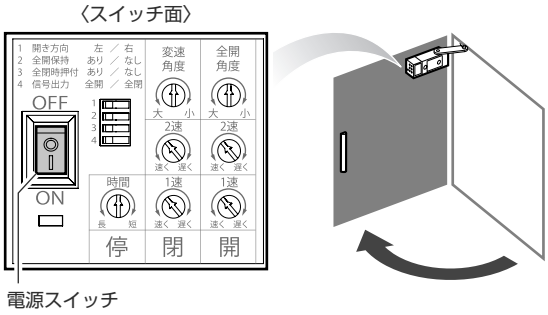
作業手順は「露出配線」の場合で説明しています。「扉枠内配線」の場合も同様に作業を進めてください。



1. ①本体に⑱電池BOX用カバーを取り付けます。

⚠ 注 意

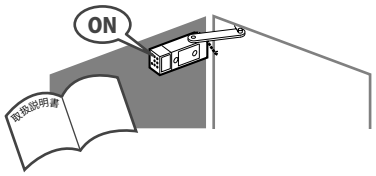
- ⑱電池BOX用カバーを取り付ける際、コードがかみ込まないように注意してください。
- ⑱電池BOX用カバーには、ツメが3つ付いています。まず下2つのツメを本体に引っかけ、最後に上1つのツメを引っかけてください。



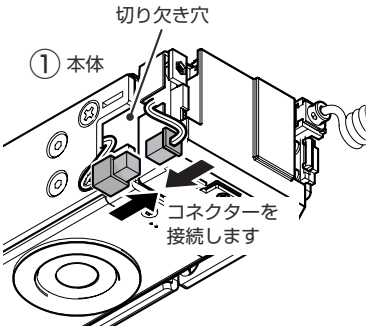
2. ドアを開いた状態で①本体の電源スイッチを「ON」にします。

⚠注 意

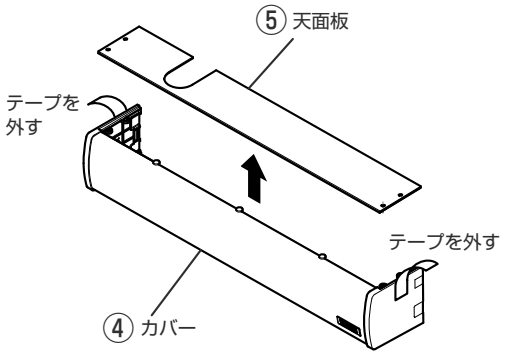
- **電源スイッチを「ON」にすると、自動的にドアが動き初期設定が行われます。**
  詳しくは取扱説明書のP.24「電源スイッチの「ON」方法」をご確認ください。



- **動作確認の際には、必ず周りに人や障害物がないことを確認してください。**



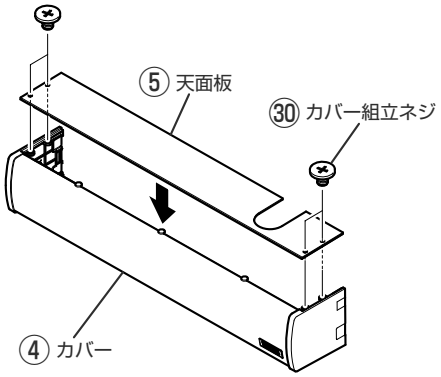
3. コネクターを接続し、切り欠き穴にコネクターを押し込みます。



4. ④カバーから⑤天面板を取り外します。

⚠注 意

- テープはゆっくりはがし、意匠面に痕が残らないようにしてください。

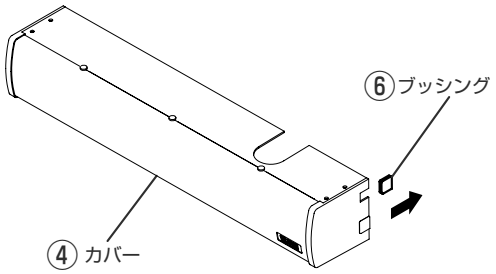


5. ④カバーに⑤天面板を㉚カバー組立ネジ(4本)で取り付けます。

⚠ 注 意

⃠ **⑤天面板は、①本体のピニオン軸の位置によって裏表を入れ替えて使用します。アームの種類とドアの開き方に合った向きで使用してください。**

⃠ **㉚カバー組立ネジをきつく締め付けすぎると、④カバーが破損するおそれがあります。ネジの頭が⑤天面板に触れる程度に締め付けてください。**

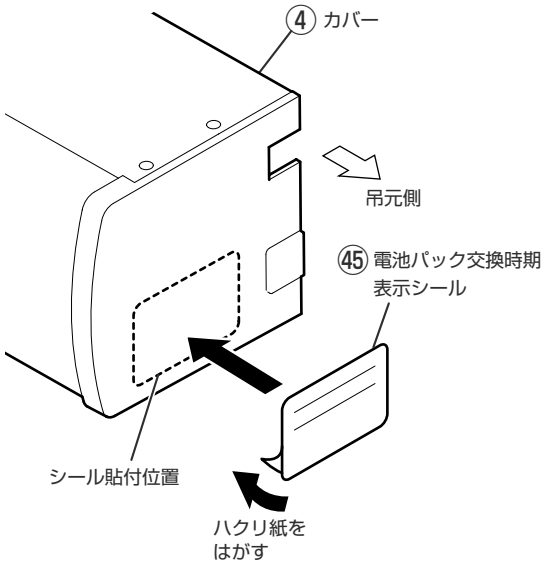


6. ④カバーの⑬配線コードが通る位置に付いている⑥ブッシングを1つ取り外します。

アドバイス

⑥ブッシングは「露出配線」の場合のみ取り外してください。「扉枠内配線」の場合、⑥ブッシングを取り外す必要はありません。

● 電池パックセット付きの場合



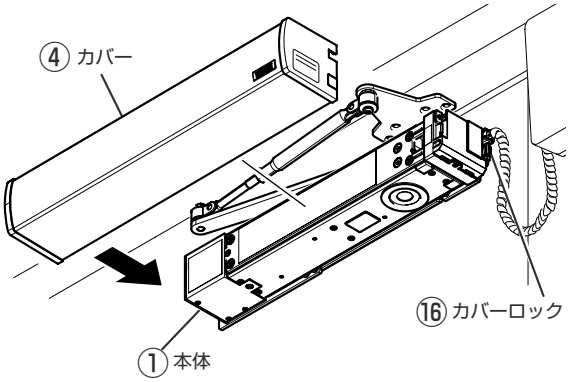
7. ㊺電池パック交換時期表示シールを④カバーに貼り付けます。

⚠ 注 意

❗ **㊺電池パック交換時期表示シールは、「使用開始日」、「交換推奨時期」を記入してから、貼り付けてください。「交換推奨時期」は使用開始日から6年後が目安です。**

❗ **㊺電池パック交換時期表示シールは、吊元側の④カバーの側面に貼り付けてください。**

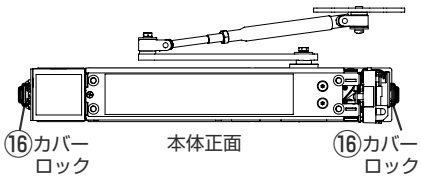
● **共通**

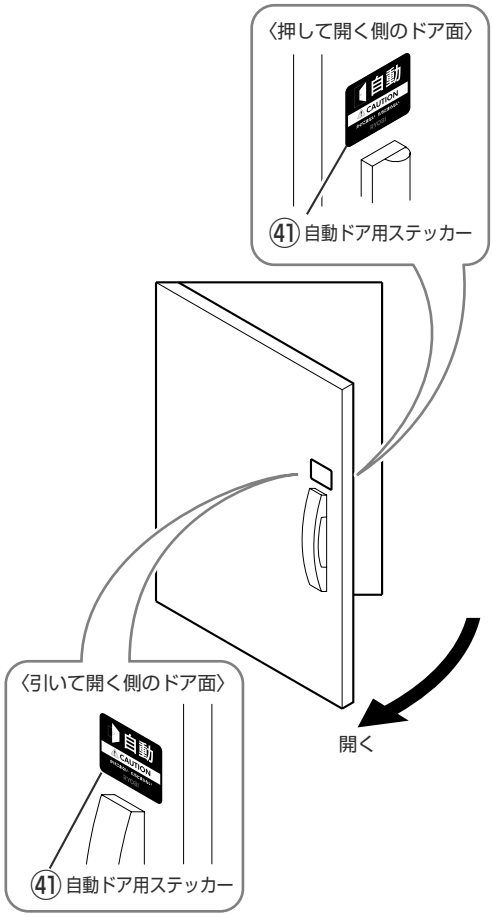


8. ①本体に④カバーを取り付けます。

⚠ 注 意

- **④カバーを取り付ける際、コードがかみ込まないように注意してください。**
- **⑯カバーロックにひっかけるように、正面から取り付けてください。**





※ 図は、内開きのドアで「右開き(R)」を表示しています。

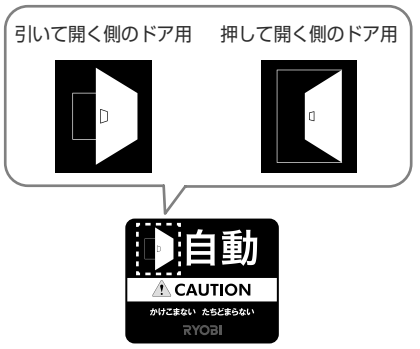
9. ⑪自動ドア用ステッカーをドアの押す側と引く側の任意の場所に貼り付けます。

⚠ 注 意

- **⑪自動ドア用ステッカーの貼り付けは任意です。施工主様に貼り付けて良いか確認してください。貼り付けない場合は、⑪自動ドア用ステッカーは施工主様にお渡しください。**
- **⑪自動ドア用ステッカーを貼り付ける前に、貼付け面の油分や汚れを拭き取ってください。**

アドバイス

ステッカーのマークとドアの開き方向をよく確認して⑪自動ドア用ステッカーを貼り付けてください。

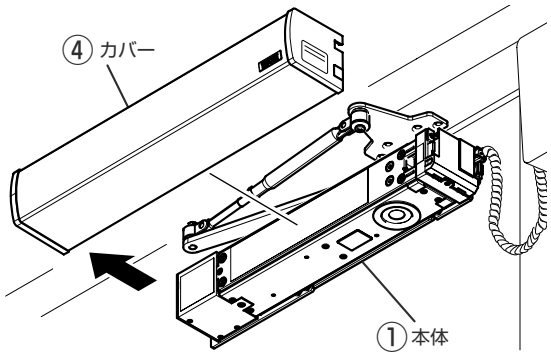


以上で取付作業は完了です。
製品のお取り扱い(調整)については、取扱説明書をご覧ください。

7.補修部品・仕様

7ー1. 電池パックの交換方法

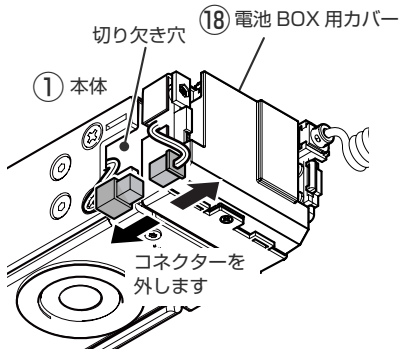
- ㊹電池パックが必要な場合は、お近くの販売店または当社営業所にご相談ください。
- 電池パックの交換方法は「露出配線」の場合で説明しています。「扉枠内配線」の場合も同様に作業を進めてください。



1. ④カバーを手前に引き、④カバーを取り外します。

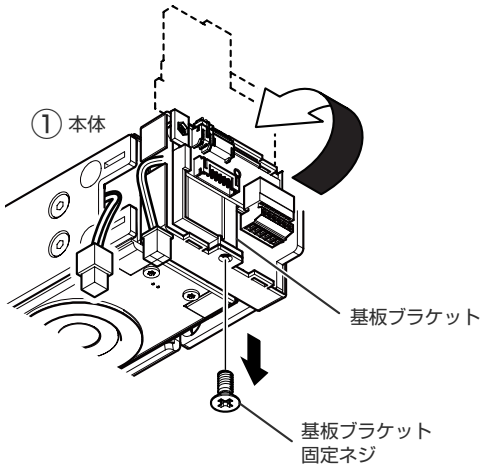
アドバイス

- ④カバーを取り外す際は、左右片方ずつ引っ張って取り外してください。
- アームや①本体を取り外す必要はありません。



2. コネクターを切り欠き穴から取り出し、コネクターを外します。

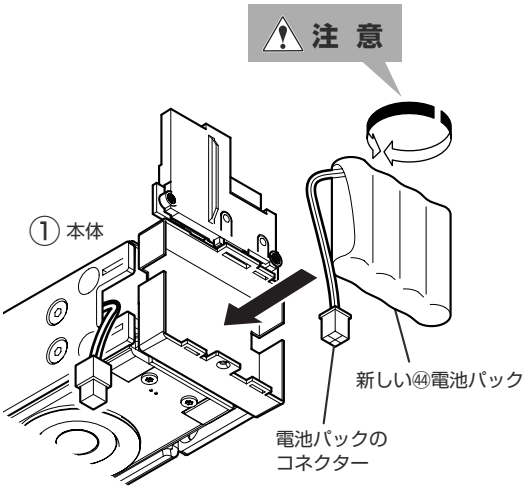
3. ⑱電池BOX用カバーを外します。



4. ①本体の基板ブラケット固定ネジを外し、基板ブラケットを開きます。

⚠ 注 意

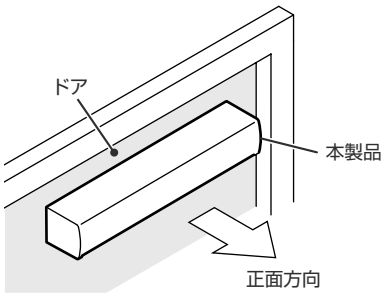
基板ブラケット固定ネジをなくさないように注意してください。



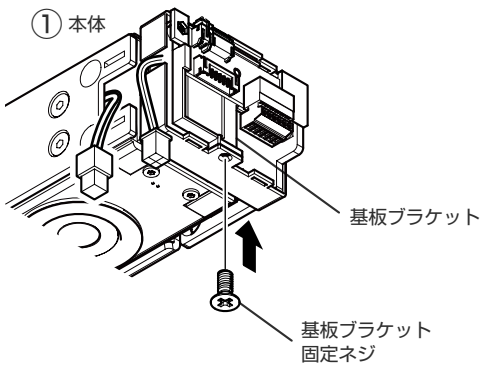
5. 古い電池パックを取り出し、新しい㊹電池パックを①本体に組み付けます。

注 意

- ㊹電池パックの組み付け向きは、取り付けるドアの開き方向によって変わります。本製品の正面方向に㊹電池パックのコネクターがくるように組み付けてください。



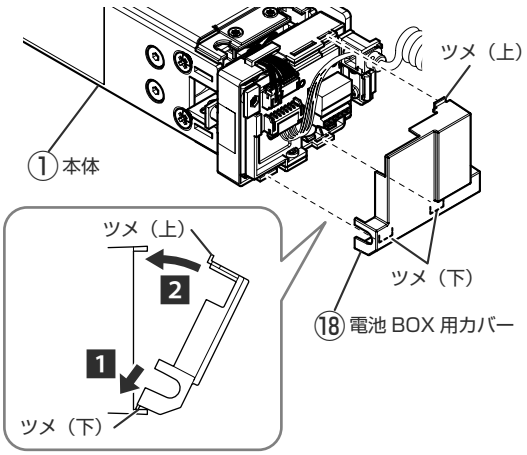
- 古い電池パックを廃棄する場合は、端子にテープなどを貼り付け、リサイクルにご協力ください。



6. 基板ブラケットを閉じ、基板ブラケット固定ネジで固定します。

注 意

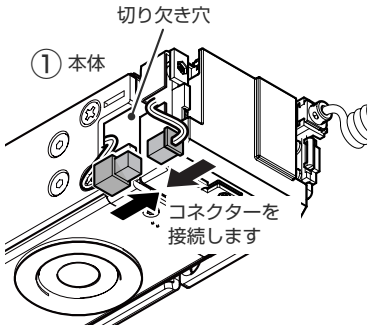
- コードがかみ込まないように注意してください。



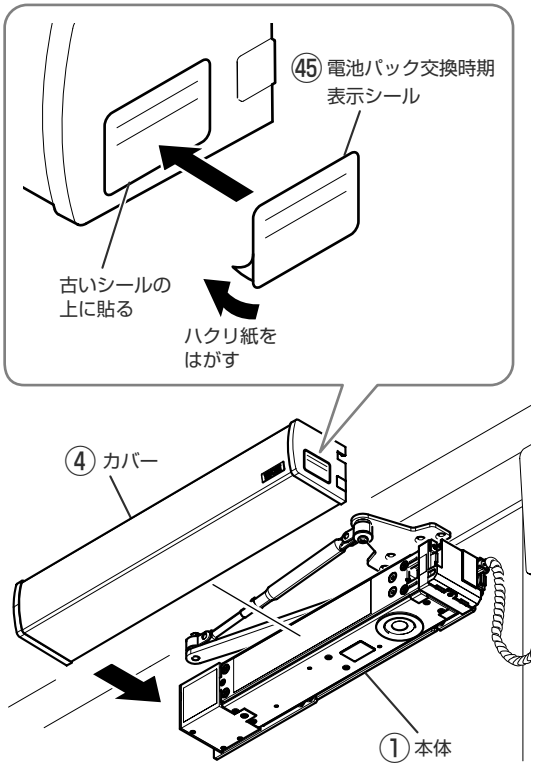
7. ①本体に⑱電池BOX用カバーを取り付けます。

注 意

- ⑱電池BOX用カバーを取り付ける際、コードがかみ込まないように注意してください。



8. コネクターを接続し、切り欠き穴にコネクターを押し込みます。



9. ㊺電池パック交換時期表示シールを④カバーに貼り付け、④カバーを復元します。

⚠ 注 意

- ㊺電池パック交換時期表示シールは、「使用開始日」、「交換推奨時期」を記入してから、貼り付けてください。「交換推奨時期」は使用開始日から６年後が目安です。
- ㊺電池パック交換時期表示シールは、吊元側の④カバーの側面に古いシールの上から貼り付けてください。
- ④カバーを取り付ける際、コードがかみ込まないように注意してください。
- ④カバーの脱落防止のため、カチッと音がするまで④カバーをドア側へ押し付けてください。その際、④カバー側面の切り欠き部からコードが出るように④カバーを取り付けてください。

7−2. 仕様

製 品 名		RUCAD（ラクアド）
型　式	扉枠内配線	RU-021P（-B）、RU-021H（-B）、RU-021T（-B） ※（-B）は停電時作動用の電池パックセット付きです。
	露 出 配 線	RU-022P（-B）、RU-022H（-B）、RU-022T（-B） ※（-B）は停電時作動用の電池パックセット付きです。
適用ドアサイズ		最大サイズ：DW1050㎜× DH2400㎜、最大重量：85㎏、 JIS # 1 ～ 4 の扉サイズ（トラックレールタイプの取付けは JIS # 3 サイズまで）
入力電圧　周波数		100V　50/60Hz
出力電圧　電流		DC12V　2.0A
最大使用電力		24W
取付方式		パラレル取付・スタンダード取付・トラックレール取付
勝手区分		左右勝手兼用
付属機能	手動起動	扉を 2˚～ 5˚開くと自動開閉を開始
	自動起動	無電圧 a 接点入力により自動開閉を開始
	開き調整	1 速度・2 速度は個別に任意設定（0 秒～ 20 秒　1 速度 0 秒設定はアシスト）
	閉じ調整	1 速度・2 速度は個別に任意設定（3 秒～ 20 秒）
	開き変速角度	開き 1 速度・2 速度の間（変速角度）は固定
	閉じ変速角度	閉じ 1 速度・2 速度の間（変速角度）は任意設定（全開位置の 5 ～ 80%）
	全開位置 （停止角度）	・パラレル取付：50˚～ 160˚ ・スタンダード取付：30˚～ 160˚ ・トラックレール取付：60˚～ 160˚
	全開位置停止時間	任意設定（1 秒～ 15 秒）
	異常停止	全区間障害物接触時異常停止、2 秒後自動復帰（手動復帰可）
	反　　転	自動開閉中、任意の角度で手動反転可能

付属機能	閉扉押付	全閉時の押付力付加のあり / なし設定可能（なし設定時の押付力は 0）
	ブレーキ装置	・開き動作中、センサー（別売）に連動し、ブレーキ作動 ・1 分以上停止した場合、ゆっくり自動閉扉動作開始
	出　　力	開扉完了まはた閉扉完了時に信号出力（無電圧 a 接点） （電源 BOX 内のインターフェイスのみ）
	ディレイ機能	起動信号が入力され続けると、ディレイ設定時間後に自動開閉を開始 （ディレイ時間 0 秒～ 5 秒）
	停電時作動	手動起動により自動開閉可能（電池パック付属機種のみ）
	インターフェイス	・本体（扉側）端子： 起動入力× 1、停止入力× 1、センサー用電源× 1（DC12V　0.2A） ・電源 BOX（枠側）端子： 起動入力× 1、停止入力× 1、センサー用電源× 1（DC12V　0.2A)、出力× 1 ※センサー用電源（電流値）は本体、電源 BOX の合計値
使用環境	周囲温度	・作動時：-10℃～ 50℃　※電池パックによる起動時（停電時）：0℃～ 40℃ ・保管時：-20℃～ 70℃　※電池パック付属機種　：　0℃～ 40℃
	周囲湿度	5 ～ 95% RH（結露なきこと）
色　　調		黒色、銀色
電池パック (品番：RUB-01)		停電時、30 分以上手動起動による自動開閉可能 ※電池パックセット付属機種のみ

RYOBI リョービ株式会社 https://www.ryobi-group.co.jp/

札　幌	〒062-0937 札幌市豊平区平岸七条 14-3-48	電話 (011)811-8232	FAX(011)832-3013
仙　台	〒984-0042 宮城県仙台市若林区大和町 5-10-1	電話 (022)237-6201	FAX(022)237-6206
東　京	〒114-8518 東京都北区豊島 5-2-8	電話 (03)3927-5533	FAX(03)3927-9415
富　山	〒939-8214 富山市黒崎 107-1	電話 (076)493-2225	FAX(076)493-2226
名古屋	〒468-0034 名古屋市天白区久方 1-145-1	電話 (052)807-1643	FAX(052)807-4820
大　阪	〒569-0814 大阪府高槻市富田町 1-6-17	電話 (072)655-0107	FAX(072)655-0153
広　島	〒736-0082 広島市安芸区船越南 3-7-29	電話 (082)823-0028	FAX(082)823-1231
福　岡	〒811-2305 福岡県糟屋郡粕屋町柚須 107-1	電話 (092)623-5000	FAX(092)623-5625

※営業所の連絡先は変更になる場合があります。
※お問い合わせの際は、製品名「ドア開閉装置 RUCAD（ラクアド）」とご相談内容をお伝えください。

仕様の変更について……商品の改良に伴って仕様の一部を変更する場合がありますのでご了承ください。